

1章 携帯電話の所有・利用状況

1節 所有・利用状況

誰がどんな携帯電話をどのように使っているか

ポイント

- スマートフォン比率(2台目まで含む)は96.3%(資料1-3a)。
- スマートフォン所有者の自宅での無線LAN(Wi-Fi)利用率は91.8%(資料1-5)。
- Appleが1台目、2台目ともに継続してメーカーシェアトップ(資料1-6、資料1-7)。
- 端末の平均所有期間はスマートフォンが2年3ヶ月、フィーチャーフォンが4年8ヶ月(資料1-8a、資料1-8b)。
- 携帯電話の買い替え時の重視点は1位が端末価格、2位が通信料金の安さ(資料1-10)。

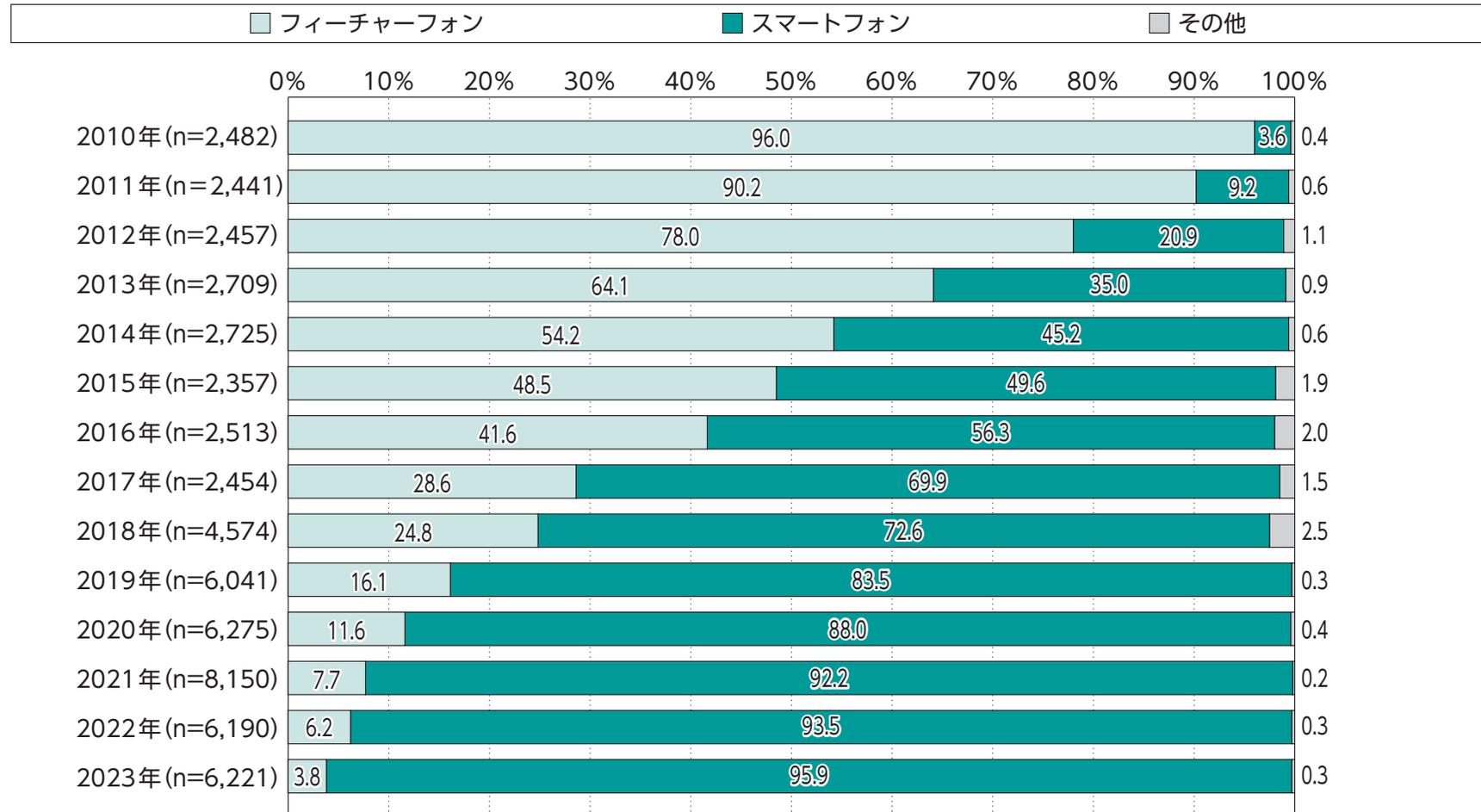
[資料1-1] 最もよく利用する携帯電話(1台目)の年次推移(単一回答)	[資料1-3b] 性年代別	12
[資料1-1a] 全体	[資料1-4] 携帯電話事業者のシェア(単一回答)	13
[資料1-1b] Android・iPhone別	[資料1-5] スマートフォン所有者の無線LAN(Wi-Fi)利用状況(複数回答)	14
[資料1-1c] 内訳	[資料1-6] 最もよく利用する携帯電話(1台目)のメーカー(単一回答)	15
[資料1-2] 携帯電話の種類(2台目)の年次推移(単一回答)	[資料1-7] 携帯電話のメーカー(2台目)(単一回答)	16
[資料1-2a] 全体	[資料1-8] 携帯電話の所有期間の年次推移(単一回答)	
[資料1-2b] Android・iPhone別	[資料1-8a] スマートフォン	17
[資料1-2c] 内訳	[資料1-8b] フィーチャーフォン	18
[資料1-3] スマートフォン比率(2台目まで含む)	[資料1-9] 携帯電話を買い替えたきっかけの年次推移(複数回答)	19
[資料1-3a] 年次推移	[資料1-10] 携帯電話の買い替え時に重視する点の年次推移(複数回答)	20

1章 1節
資料1-1a

最もよく利用する携帯電話(1台目)の年次推移(単一回答)[全体]

● 2023年のスマートフォン比率は95.9%。

全体



注1：携帯電話所有者が回答。

注2：「フィーチャーフォン」は「シニア向け以外の従来のケータイ (PHSまたはいわゆるガラケー)」「シニア向けの従来のケータイ(らくらくホンなど)」の合計。

注3：「スマートフォン」は「Android」「iPhone」「Windows MobileがOSのもの」「シニア向けスマートフォン」「タブレット (AQUOS PAD、ARROWS Tab、iPadなどで、通信回線契約をしているものに限る)」の合計。

注4：「その他」は「モバイルルーター、データ通信USB」「その他」の合計。

出典：2010年-2023年一般向けモバイル動向調査

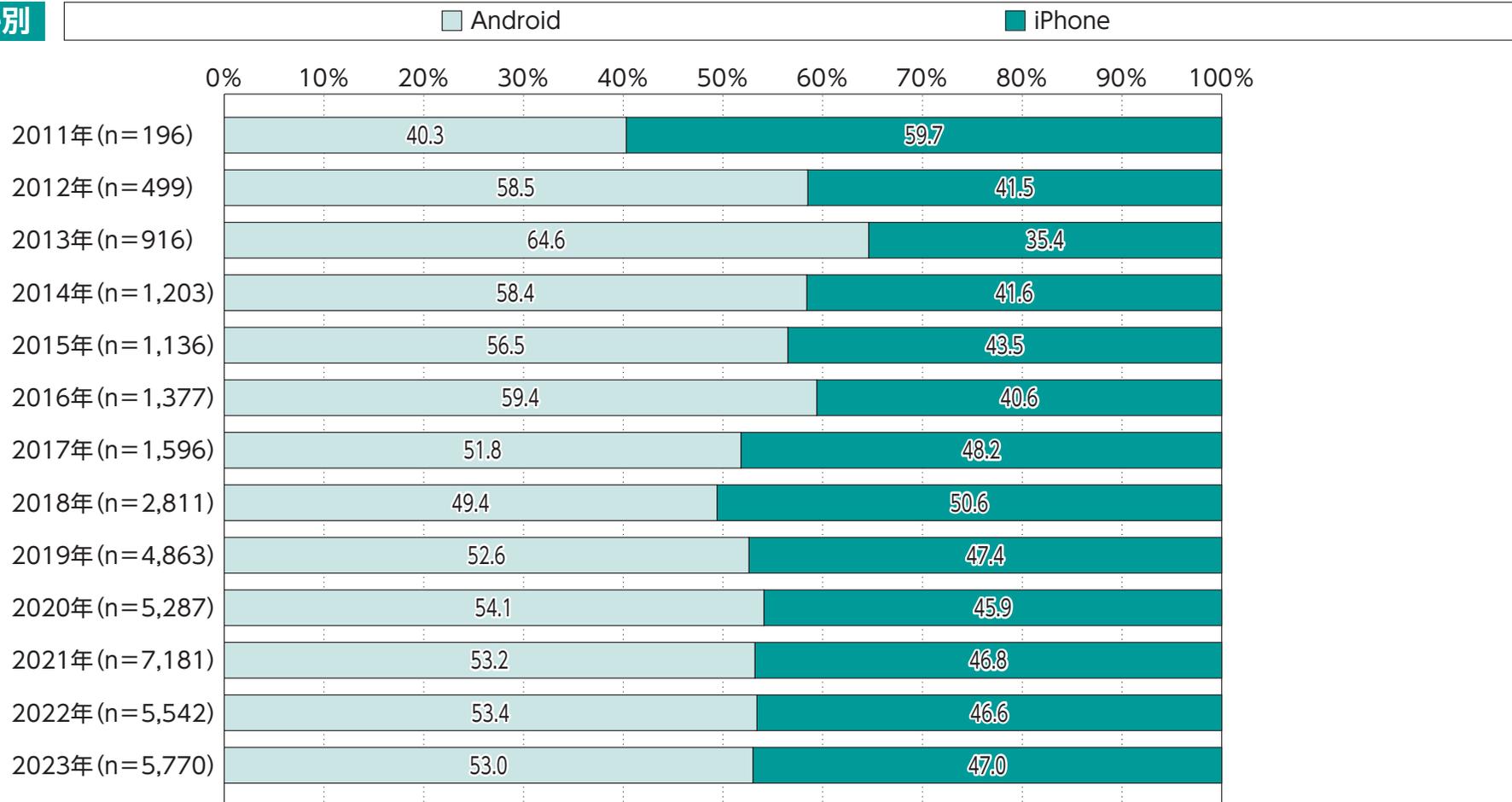
1章 1節

最もよく利用する携帯電話(1台目)の年次推移(単一回答) [Android・iPhone別]

資料1-1b

● Android・iPhone別では、2023年のAndroid比率は53.0%、iPhone比率は47.0%。

Android・iPhone別



注：AndroidもしくはiPhone利用者が回答。
 出典：2011年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節

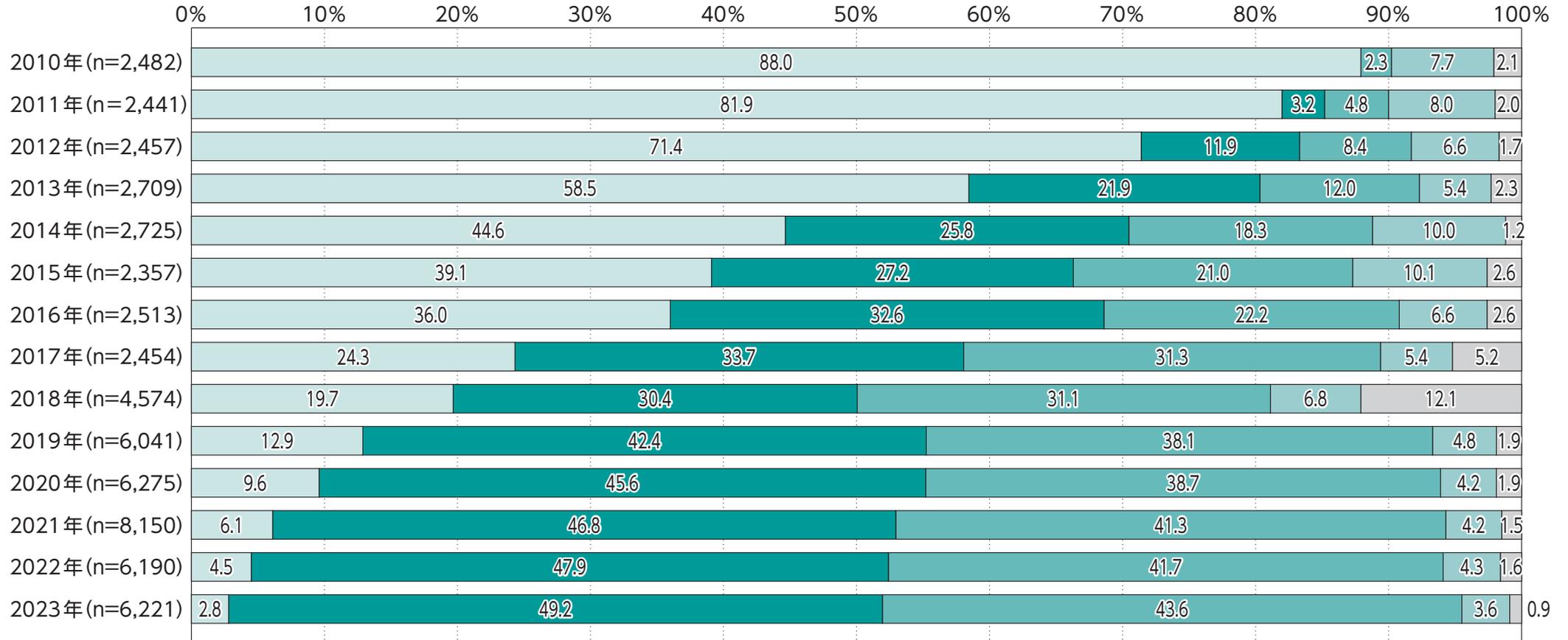
最もよく利用する携帯電話(1台目)の年次推移(単一回答) [内訳]

資料1-1c

● 2023年のフィーチャーフォン(らくらくホンを除く)はわずか2.8%に減少。

内訳

■ フィーチャーフォン
 ■ Android
 ■ iPhone
 ■ シニア
 ■ その他



注1：携帯電話所有者が回答。

注2：「フィーチャーフォン」は「シニア向け以外の従来のケータイ (PHSまたはいわゆるガラケー)」を集計。

注3：「シニア」は「シニア向けの従来のケータイ(らくらくホンなど)」「シニア向けのスマートフォン(らくらくスマートフォンなど)」を合計。

注4：「その他」は「Windows Mobile など Android や iPhone 以外のスマートフォン」「タブレット (AQUOS PAD、ARROWS Tab、iPad など、通信回線契約をしているものに限る)」「モバイルルーター、データ通信 USB」「その他」を合計。

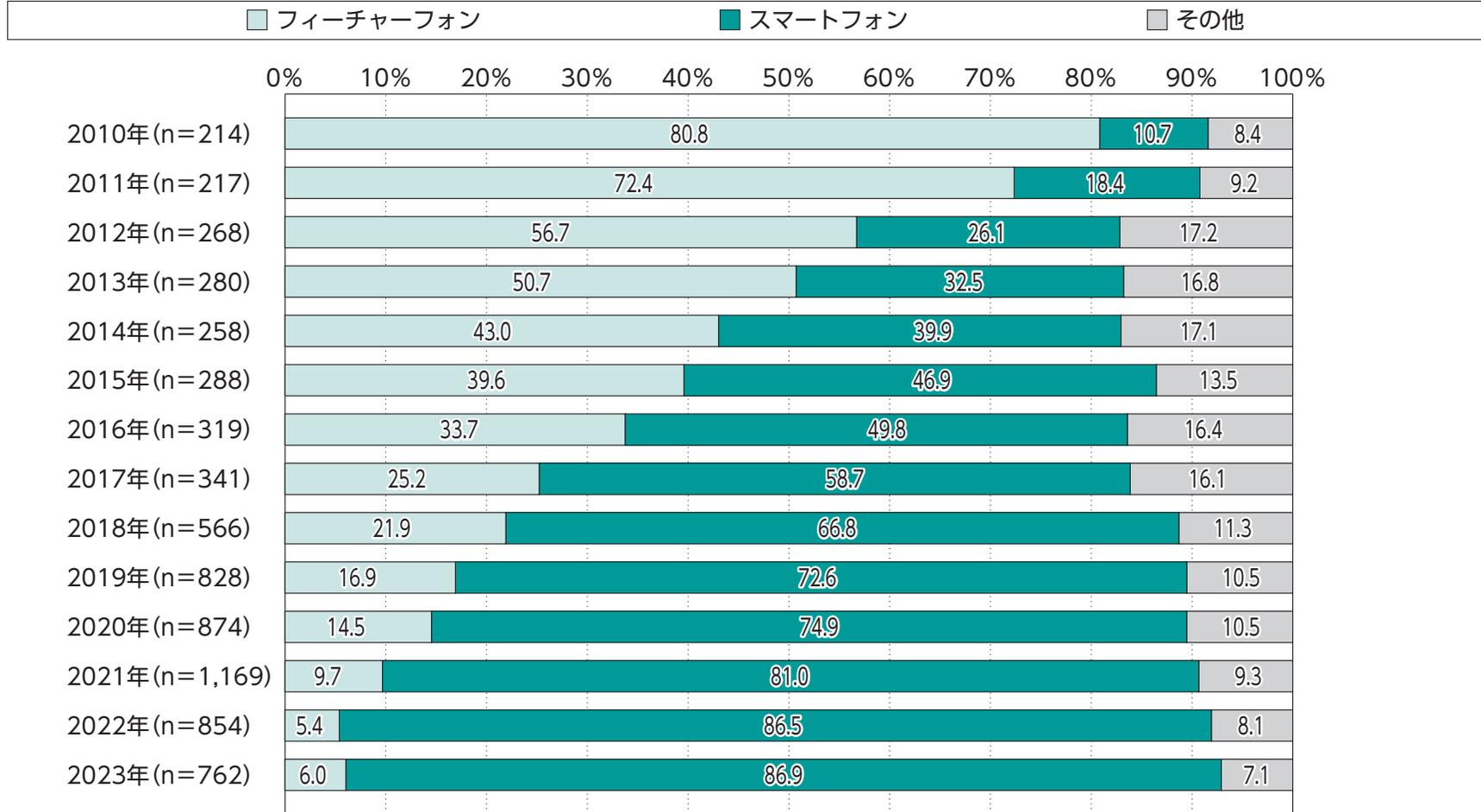
出典：2010年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節
資料1-2a

携帯電話の種類(2台目)の年次推移(単一回答)[全体]

● 2023年のスマートフォン比率は86.9%。

全体



注1：携帯電話所有者が回答。

注2：「フィーチャーフォン」は「シニア向け以外の従来のケータイ (PHSまたはいわゆるガラケー)」「シニア向けの従来のケータイ(らくらくホンなど)」の合計。

注3：「スマートフォン」は「Android」「iPhone」「Windows MobileなどAndroidやiPhone以外のスマートフォン」「シニア向けスマートフォン」「タブレット (AQUOS PAD、ARROWS Tab、iPadなどで、通信回線契約をしているものに限る)」の合計。

注4：「その他」は「モバイルルーター、データ通信USB」「その他」の合計。

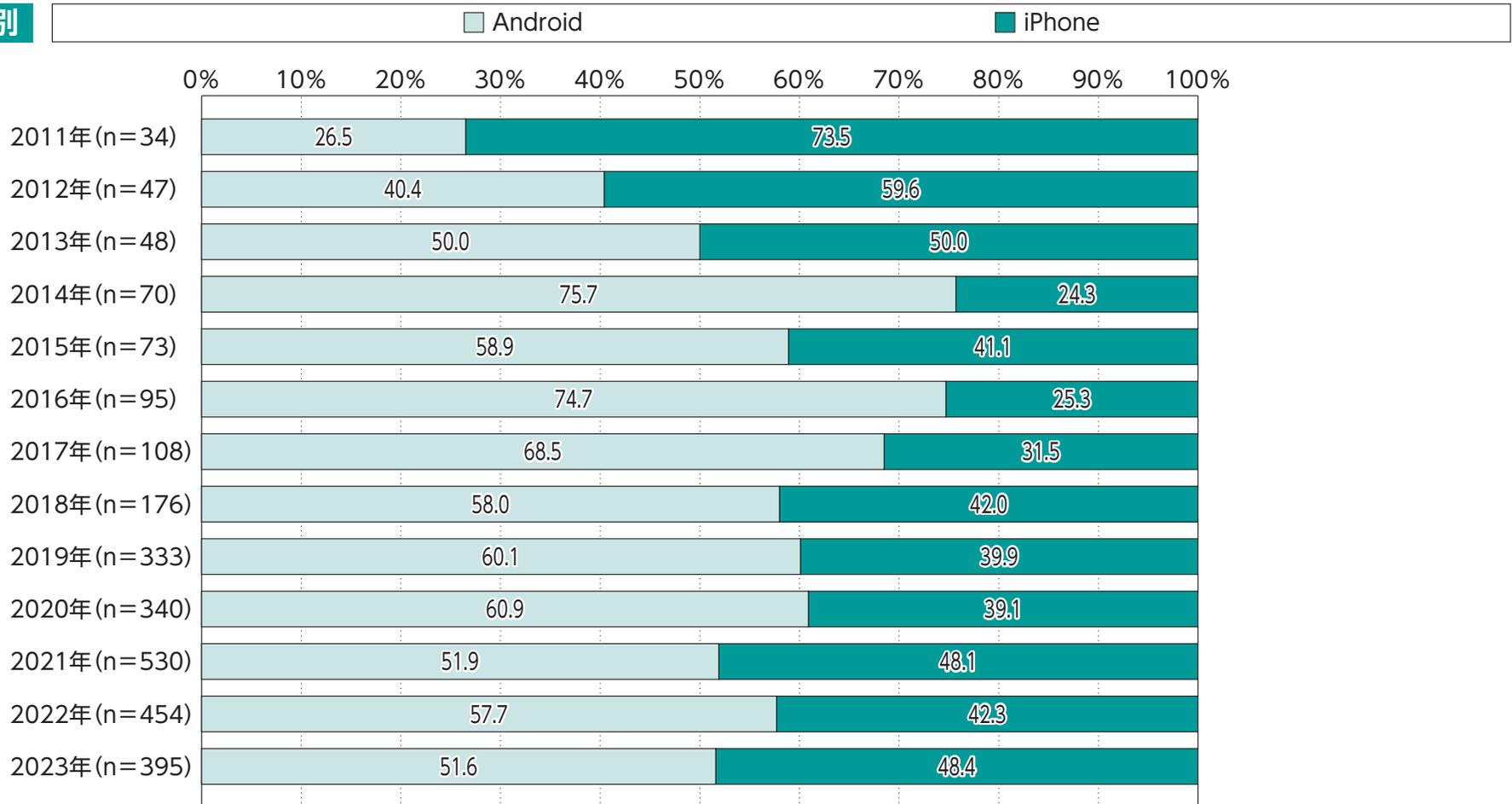
出典：2010年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節
資料1-2b

携帯電話の種類(2台目)の年次推移(単一回答)[Android・iPhone別]

● Android・iPhone別では、2023年のAndroid比率は51.6%、iPhone比率は48.4%。

Android・iPhone別



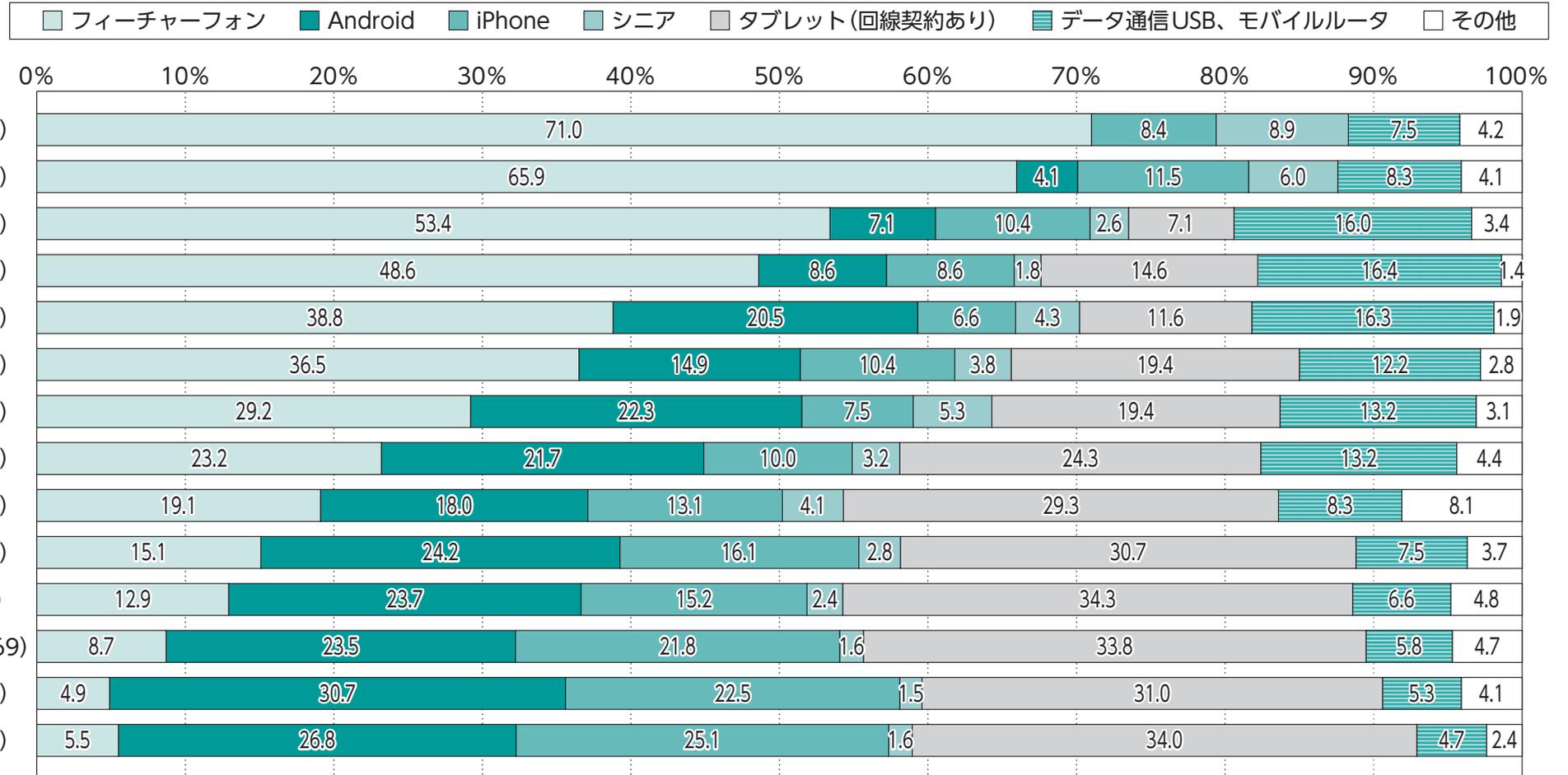
注：AndroidもしくはiPhone利用者が回答。
出典：2011年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節
資料1-2c

携帯電話の種類(2台目)の年次推移(単一回答)[内訳]

● 2023年のタブレット比率は34.0%。

内訳



注1：携帯電話所有者が回答。

注2：「フィーチャーフォン」は「シニア向け以外の従来のケータイ(PHSまたはいわゆるガラケー)」を集計。

注3：「シニア」は「シニア向けの従来のケータイ(らくらくホンなど)」「シニア向けのスマートフォン(らくらくスマートフォンなど)」を合計。

注4：「その他」は「Windows MobileなどAndroidやiPhone以外のスマートフォン」「その他」を合計。

出典：2010年-2023年一般向けモバイル動向調査

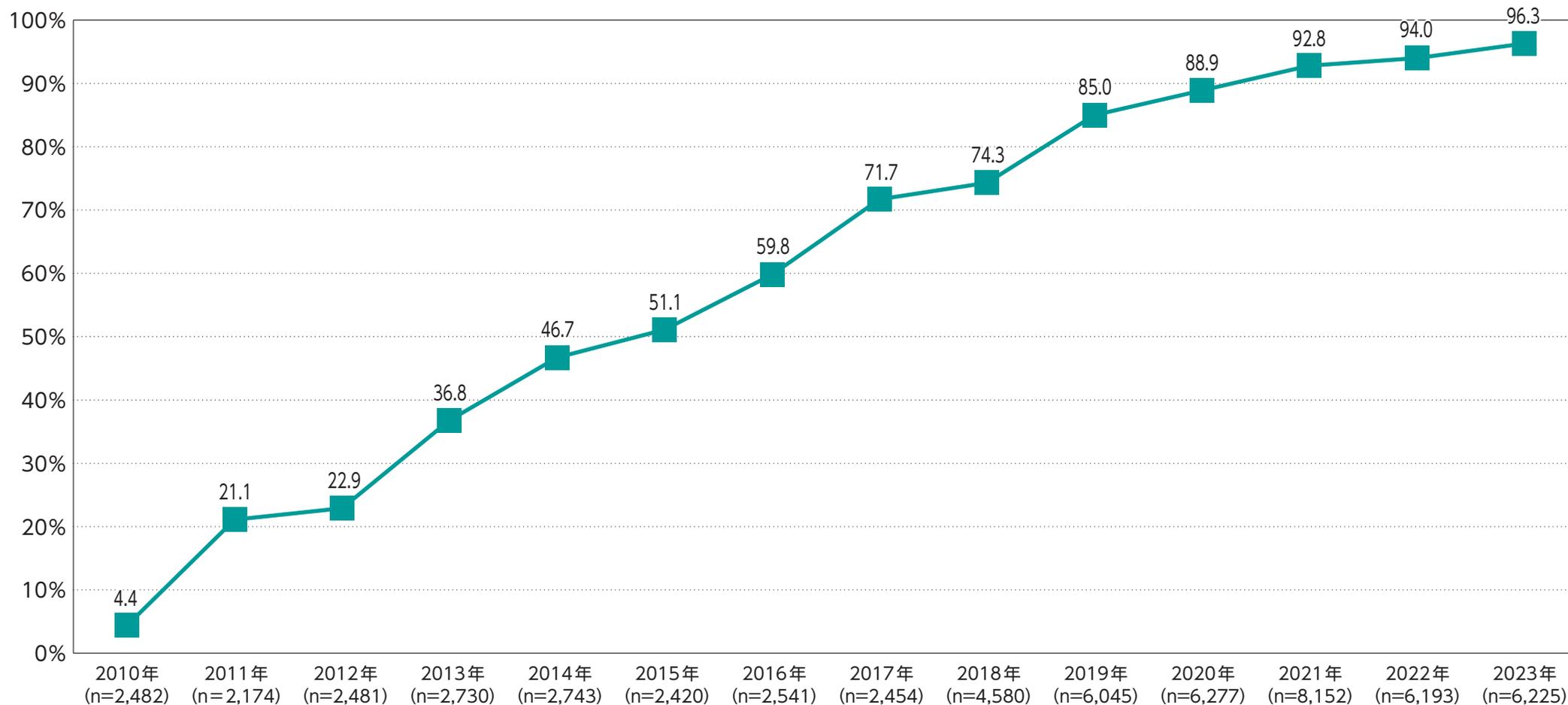
1章 1節

スマートフォン比率(2台目まで含む) [年次推移]

資料1-3a

- スマートフォン比率は年々増加。
- 2023年のスマートフォン比率は96.3%。

年次推移



注1：携帯電話所有者が回答。

注2：1台目もしくは2台目にスマートフォン所有と回答した場合をスマートフォン所有として算出。

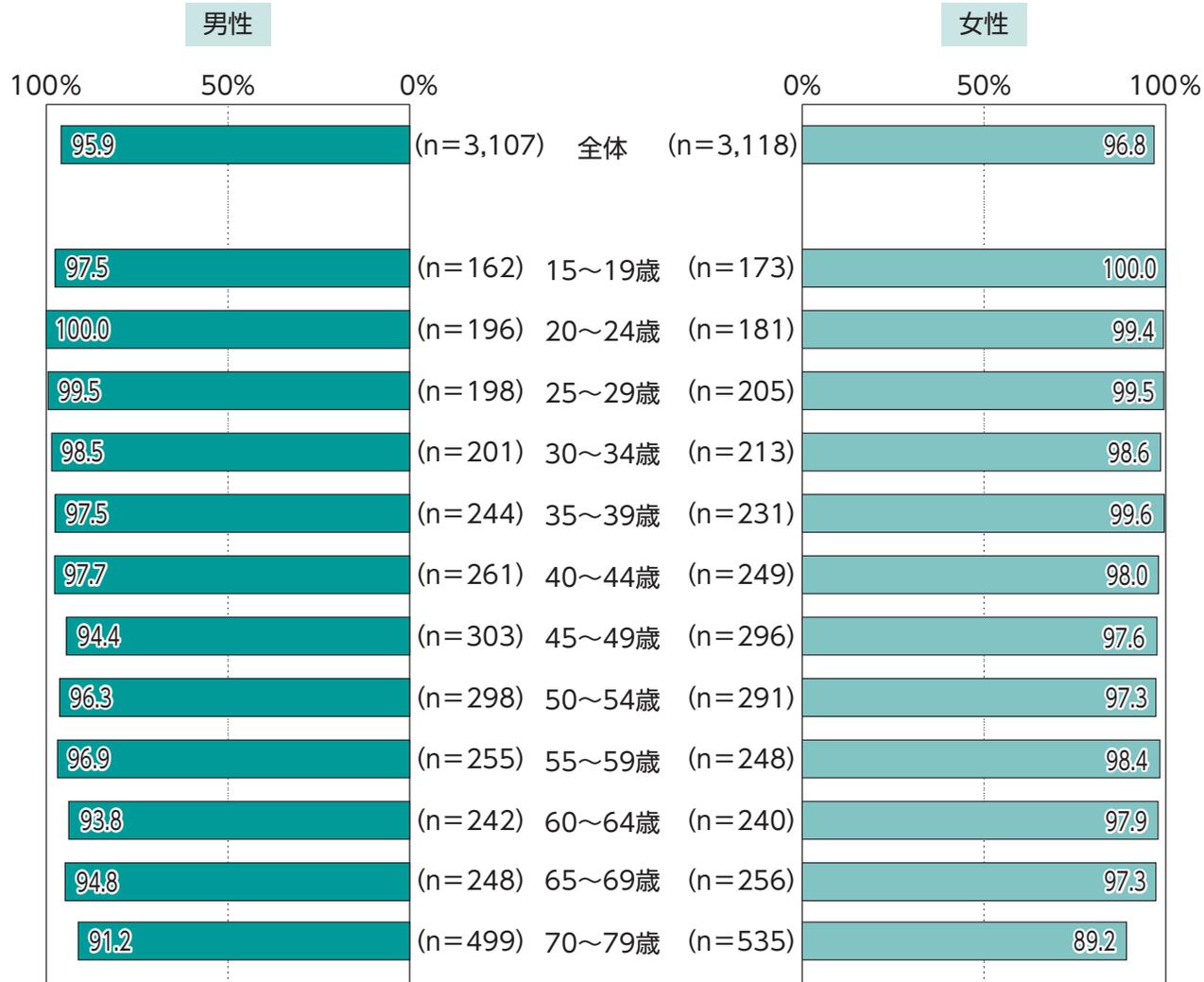
出典：2010年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節
資料1-3b

スマートフォン比率(2台目まで含む) [性年代別]

- 「女性15～19歳」「男性20～24歳」のスマートフォン比率は100%。
- 「70～79歳」のスマートフォン比率はおよそ9割。

性年代別



注1：携帯電話所有者が回答。

注2：1台目もしくは2台目にスマートフォン所有と回答した場合をスマートフォン所有として算出。

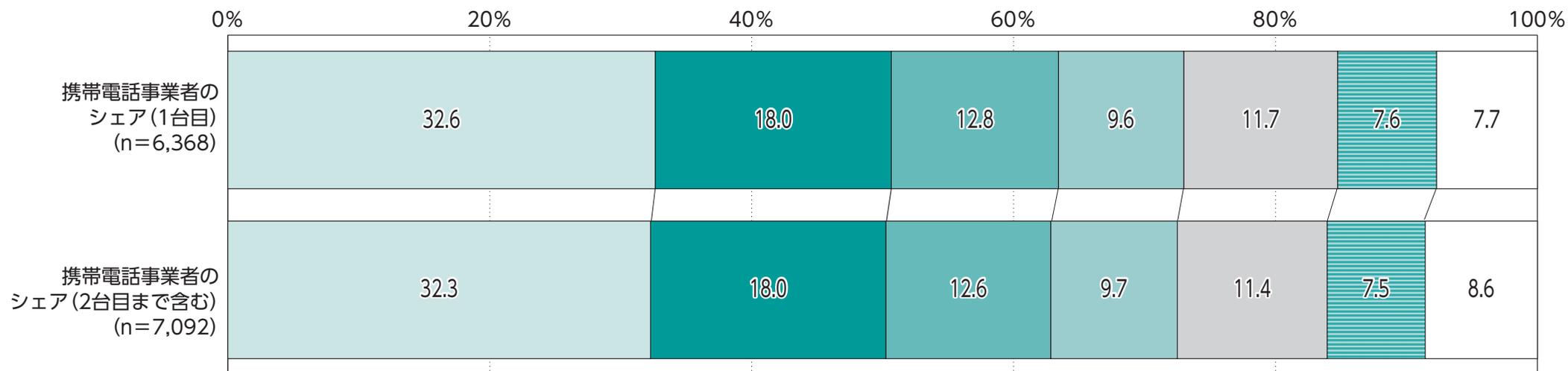
出典：2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節

携帯電話事業者のシェア(単一回答)

資料1-4

●携帯電話事業者のシェア(1台目)は、「NTTドコモ」(32.6%)、「au(KDDI、沖縄セルラー)」(18.0%)、「ソフトバンク」(12.8%)の主要3社で6割強となった。



注：携帯電話所有者が回答。

出典：2023年一般向けモバイル動向調査

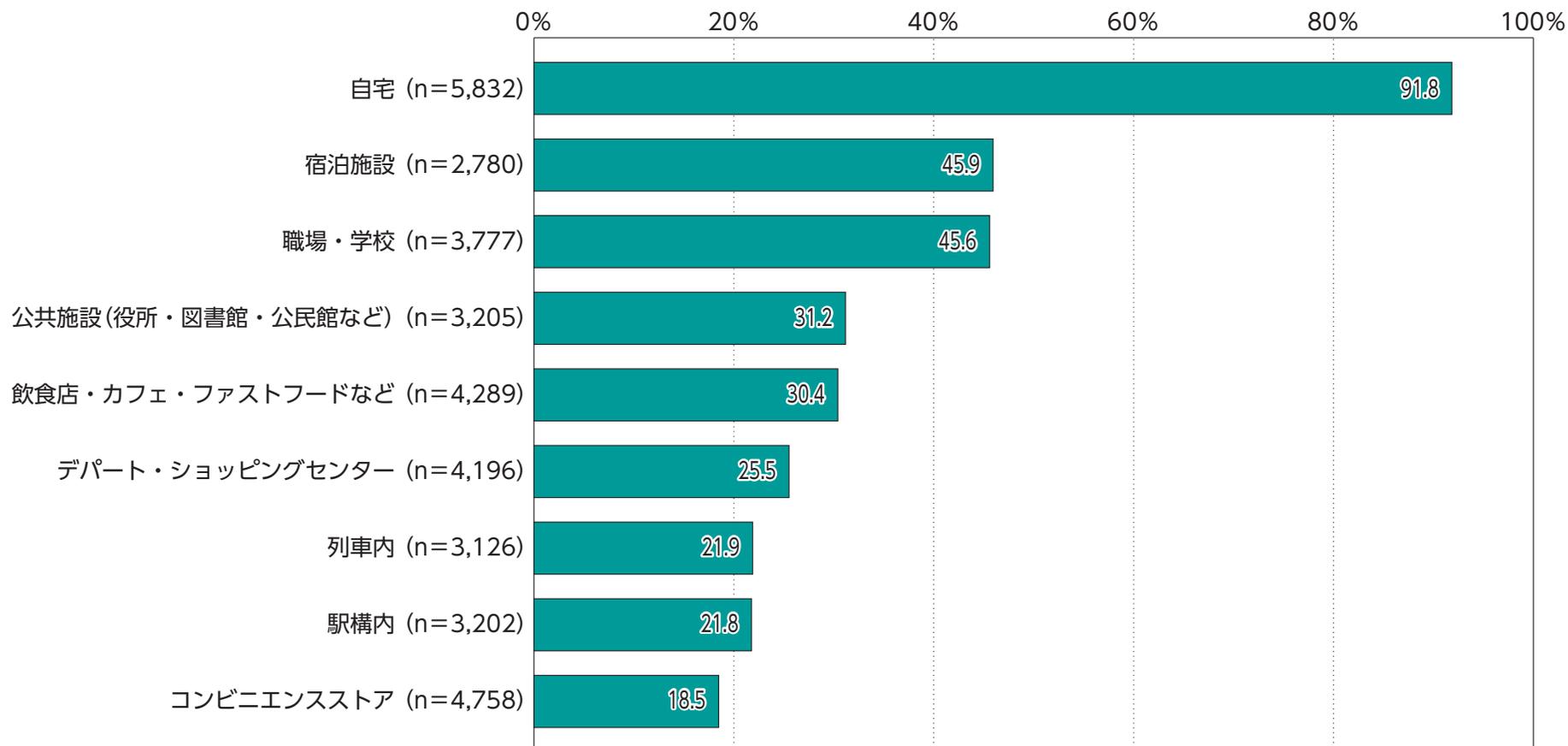
1章 1節

スマートフォン所有者の無線LAN(Wi-Fi)利用状況(複数回答)

資料1-5

- スマートフォン所有者の「自宅」での無線LAN(Wi-Fi)利用率は91.8%となっている。
- スマートフォン所有者の自宅以外での無線LAN(Wi-Fi)の利用場所を見ると、「宿泊施設」での利用率が45.9%、「職場・学校」が45.6%が次点として続く。

■ スマートフォンを使用する際、無線LAN(Wi-Fi)を利用している割合



注1：スマートフォン所有者が回答。

注2：直近1ヶ月にその場に行った人を対象として集計。

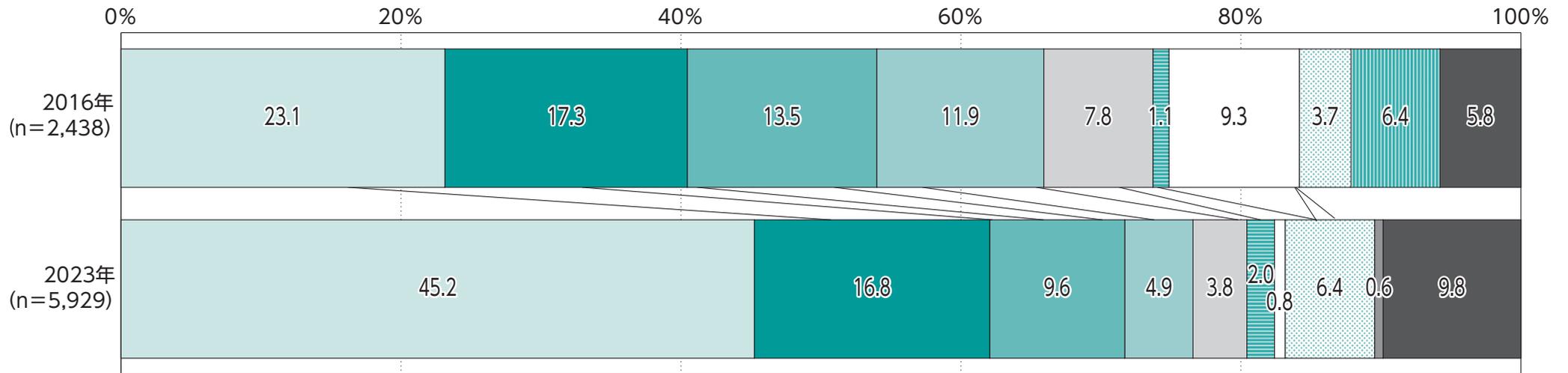
出典：2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節

最もよく利用する携帯電話(1台目)のメーカー(単一回答)

資料1-6

●「Apple」が最も高く、2016年の23.1%から2023年の45.2%と約20ポイント増加している。

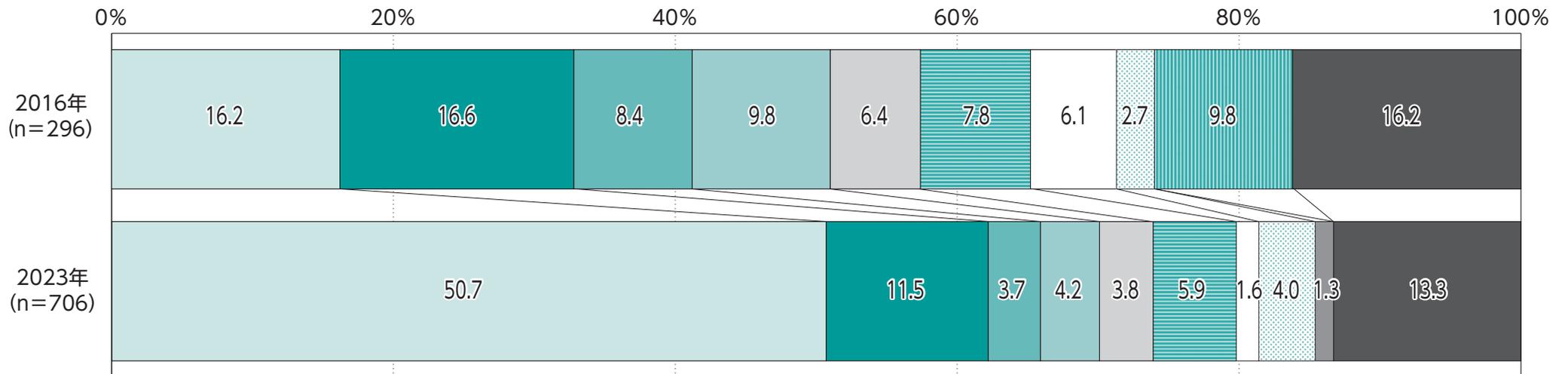


注1：携帯電話所有者が回答。
 注2：10位以下のメーカーは「その他」に含む。
 注3：旧メーカーは【】内に記載。
 出典：2016年、2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節 携帯電話のメーカー(2台目)(単一回答)

資料1-7

● 2016年は1位「シャープ」(16.6%)、2位「Apple」(16.2%)であったが、2023年は1位「Apple」(50.7%)、2位「シャープ」(11.5%)となっている。



注1：携帯電話所有者が回答。

注2：10位以下のメーカーは「その他」に含む。

注3：旧メーカーは【】内に記載。

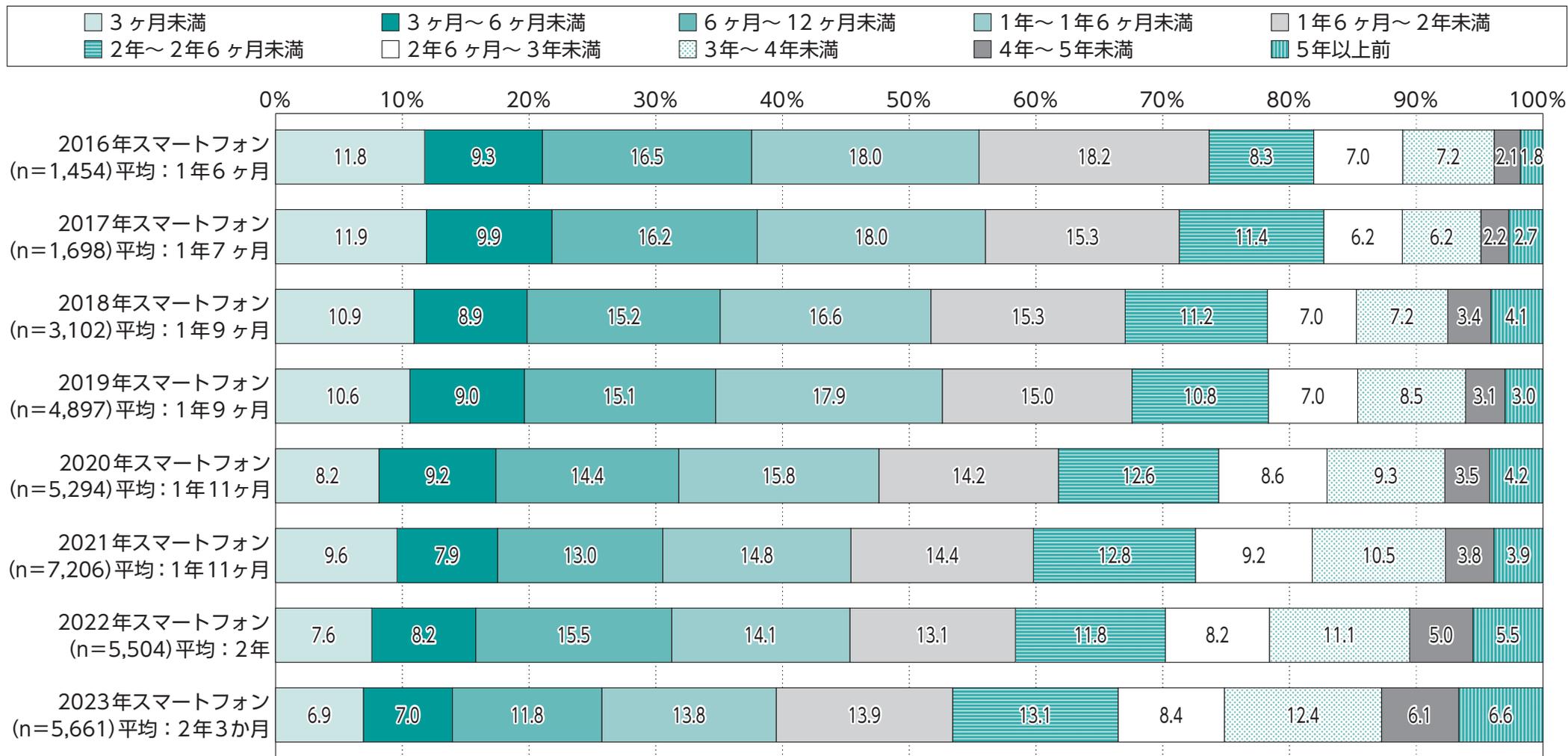
出典：2016年、2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節

携帯電話の所有期間の年次推移(単一回答)[スマートフォン]

資料1-8a

●スマートフォンの平均所有期間は、2016年の「1年6ヶ月」から2023年の「2年3ヶ月」に伸びている。



注1: スマートフォン所有者が回答。

注2: 平均値は、「3ヶ月未満」を1.5ヶ月、「5年以上」を7.5年とし、他は中間値で加重平均したもの。

注3: 現在利用している端末の所有期間を回答。

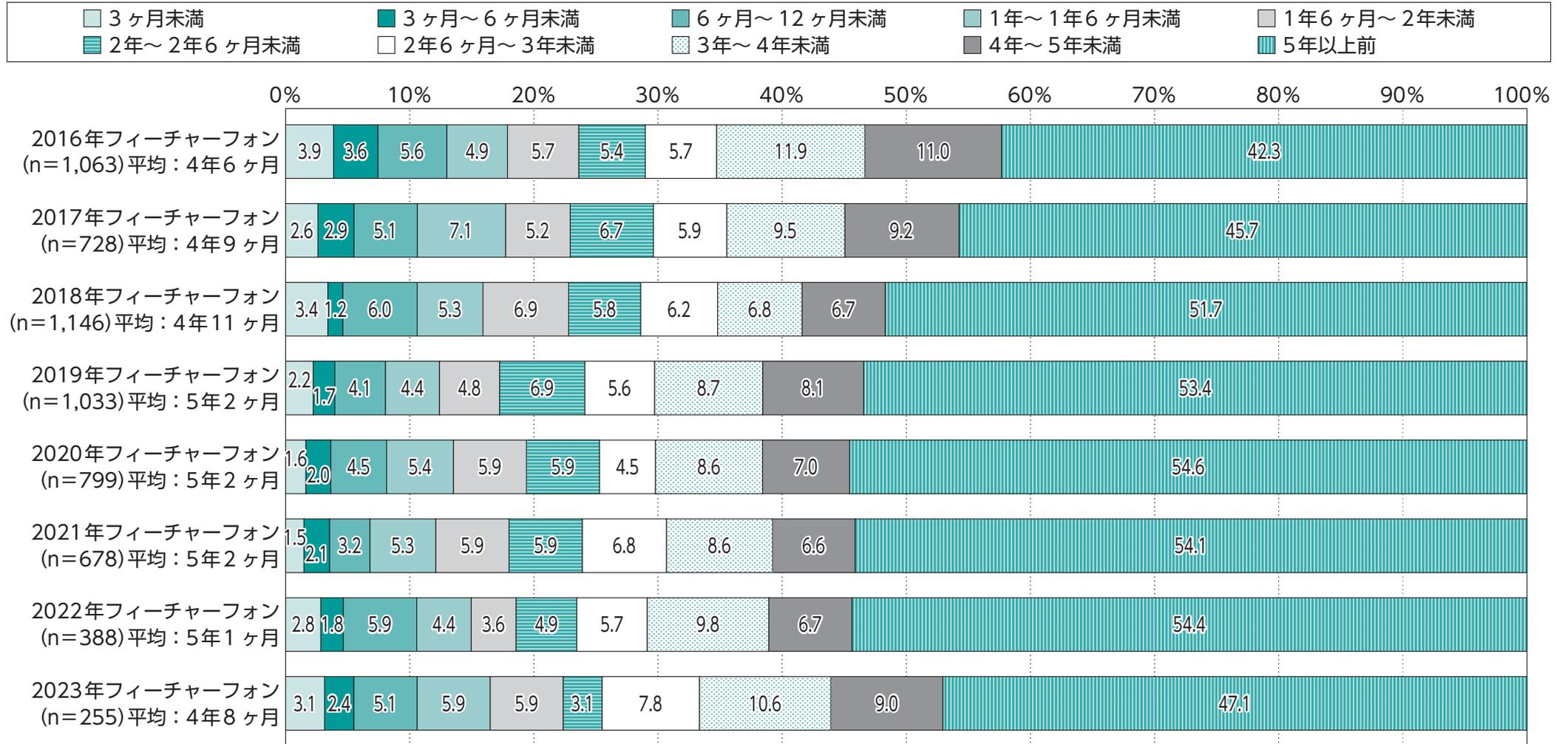
出典: 2016年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節

携帯電話の所有期間の年次推移(単一回答)[フィーチャーフォン]

資料1-8b

- 2016年と2023年を比較すると、スマートフォン・フィーチャーフォンともに平均所有期間が長くなっている。
- フィーチャーフォンの平均所有期間は、2016年の「4年6ヶ月」から2023年の「4年8ヶ月」に伸びている。



注1：フィーチャーフォン所有者が回答。

注2：平均値は、「3ヶ月未満」を1.5ヶ月、「5年以上」を7.5年とし、他は中間値で加重平均したもの。

注3：現在利用している端末の所有期間を回答。

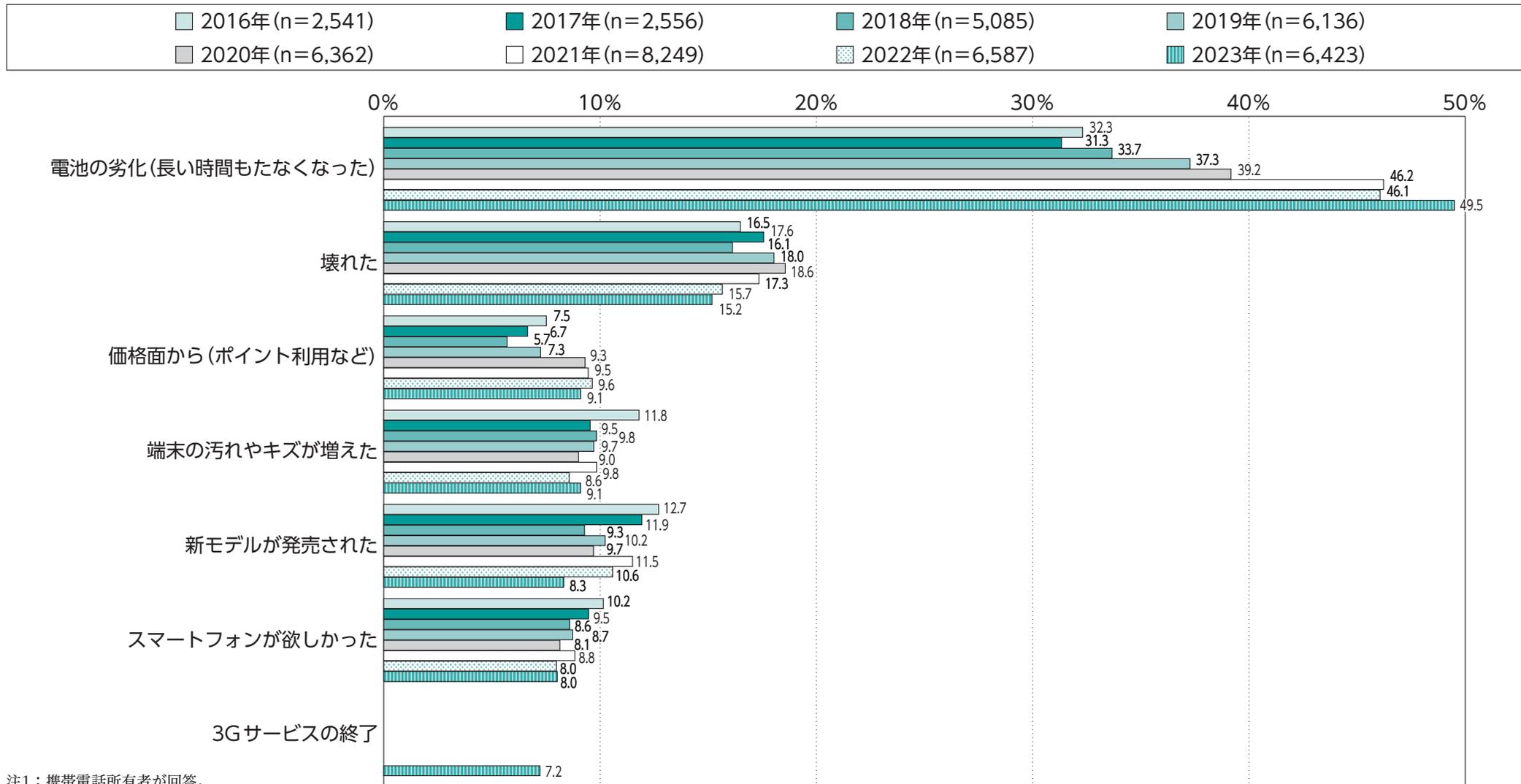
出典：2016年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節

携帯電話を買い替えたきっかけの年次推移(複数回答)

資料1-9

●「電池の劣化」(49.5%)が突出しており、年々増加している。



注1：携帯電話所有者が回答。

注2：上位7項目を掲載。

出典：2016年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 1節

携帯電話の買い替え時に重視する点の年次推移(複数回答)

資料1-10

●「端末価格」「通信料金の安さ」が2011年以降上位を独占しており、価格重視の傾向がみられる。

(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
2010年 (n = 2,542)	端末価格 60.2	端末のデザイン 54.6	カメラ機能、およびその性能 51.9	操作性 50.5	画面の大きさ 50.0	電波性能 40.5	端末の色 35.1
2011年 (n = 2,503)	端末価格 60.1	通信料金の安さ 46.0	操作性 42.2	端末のデザイン 39.9	カメラ機能、およびその性能 30.2	携帯性 24.4	端末の色 22.2
2012年 (n = 2,481)	端末価格 60.7	通信料金の安さ 50.9	操作性 38.9	端末のデザイン 36.7	携帯電話会社や 端末メーカーへの信頼 32.1	カメラ機能、およびその性能 27.0	携帯性 24.9
2013年 (n = 2,730)	端末価格 56.8	通信料金の安さ 51.1	操作性 32.2	端末のデザイン 30.6	携帯電話会社や 端末メーカーへの信頼 29.2	カメラ機能、およびその性能 23.8	携帯性 22.2
2014年 (n = 2,743)	端末価格 54.6	通信料金の安さ 50.2	操作性 30.6	端末のデザイン 20.6	電波性能 19.4	携帯電話会社の ブランドが好きだから 19.2	電池性能 18.7
2015年 (n = 2,420)	端末価格 53.0	通信料金の安さ 51.7	操作性 26.4	携帯電話会社の ブランドが好きだから 19.3	端末のデザイン 18.1	画面が大きい 17.2	電波性能 15.3
2016年 (n = 2,541)	端末価格 57.8	通信料金の安さ 55.2	操作性 28.3	携帯電話会社の ブランドが好きだから 19.2	メーカーや端末の ブランドが好きだから 18.4	電池性能 18.2	端末のデザイン 18.1
2017年 (n = 2,556)	端末価格 53.0	通信料金の安さ 51.6	操作性 25.5	メーカーや端末の ブランドが好きだから 17.4	携帯電話会社の ブランドが好きだから 17.1	メモリ容量 16.0	画面が大きい 15.9
2018年 (n = 5,085)	端末価格 48.4	通信料金の安さ 48.2	操作性 22.1	携帯電話会社の ブランドが好きだから 16.1	メモリ容量 15.4	画面が大きい 15.2	メーカーや端末の ブランドが好きだから 14.3
2019年 (n = 6,136)	端末価格 53.1	通信料金の安さ 51.3	操作性 25.5	メモリ容量 21.4	メーカーや端末の ブランドが好きだから 18.3	電池性能 17.6	端末のデザイン 17.4
2020年 (n = 6,362)	端末価格 55.2	通信料金の安さ 51.7	操作性 27.0	メモリ容量 22.1	電池性能 19.1	メーカーや端末の ブランドが好きだから 18.4	画面が大きい 17.4
2021年 (n = 8,249)	端末価格 56.6	通信料金の安さ 52.8	操作性 28.9	メモリ容量 24.4	電池性能 21.6	メーカーや端末の ブランドが好きだから 19.6	画面が大きい 19.1
2022年 (n = 6,587)	端末価格 54.6	通信料金の安さ 50.9	操作性 26.2	メモリ容量 24.5	電波性能(エリアの広さ、 つながりやすさなど) 19.5	電池性能(長持ち具合、 取り替えやすさなど) 18.7	メーカーや端末の ブランドが好きだから 18.5
2023年 (n = 6,423)	端末価格 60.1	通信料金の安さ 52.9	操作性 27.8	メモリ容量 23.2	電池性能(長持ち具合、 取り替えやすさなど) 22.0	電波性能(エリアの広さ、 つながりやすさなど) 20.8	メーカーや端末の ブランドが好きだから 19.8

注1：携帯電話所有者が回答。

注2：上位7位までを掲載。

出典：2010年-2023年一般向けモバイル動向調査

1章 携帯電話の所有・利用状況

2節 スマートフォン利用行動

スマートフォンの利用時間、アプリのダウンロード数や利用アプリ数、起床後や就寝前にスマートフォンで行っている行動

ポイント

- スマートフォンの利用時間は若年層・女性のほうが長時間利用の傾向があり、10～20代の女性では約7割が4時間以上利用(資料1-12)。
- アプリのダウンロード数および日常的に使用するアプリ数は若年層のほうが多い傾向があり、10～30代の男女の約3割が10個以上のアプリを日常的に使用(資料1-13、資料1-14)。
- 起床後すぐのスマートフォン使用、就寝前のスマートフォン使用の割合は若年層が高く、いずれも最も行われている行動は「メールやメッセージのチェック」(資料1-15～資料1-18)。

[資料1-11] スマートフォンの利用頻度[性年代別](単一回答) ……………	22
[資料1-12] スマートフォンの利用時間[性年代別](単一回答) ……………	23
[資料1-13] 自身でダウンロードしたアプリの数[性年代別](単一回答) ……………	24
[資料1-14] 日常的に使うアプリの数[性年代別](単一回答) ……………	25
[資料1-15] 起床後すぐのスマートフォン使用[性年代別](単一回答) ……………	26

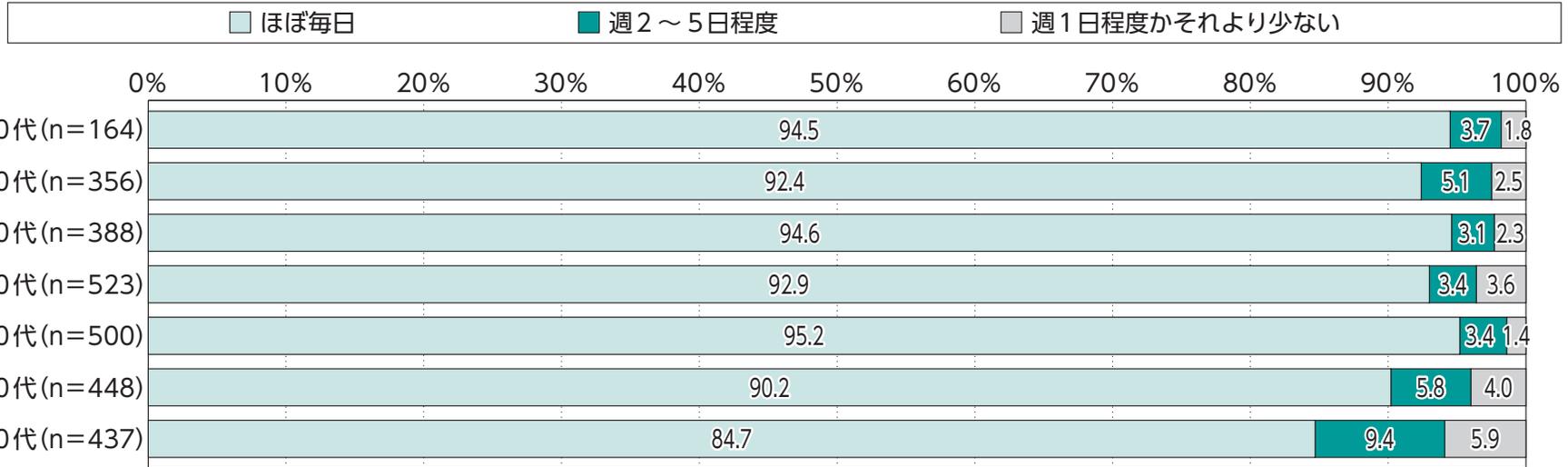
[資料1-16] 起床後すぐにスマートフォンで行っている行動(複数回答) ……………	27
[資料1-17] 就寝前に布団などに入りながらのスマートフォン使用 [性年代別](単一回答) ……………	28
[資料1-18] 就寝前に布団などに入りながらスマートフォンで行っている行動 (複数回答) ……………	29

1章 2節
資料1-11

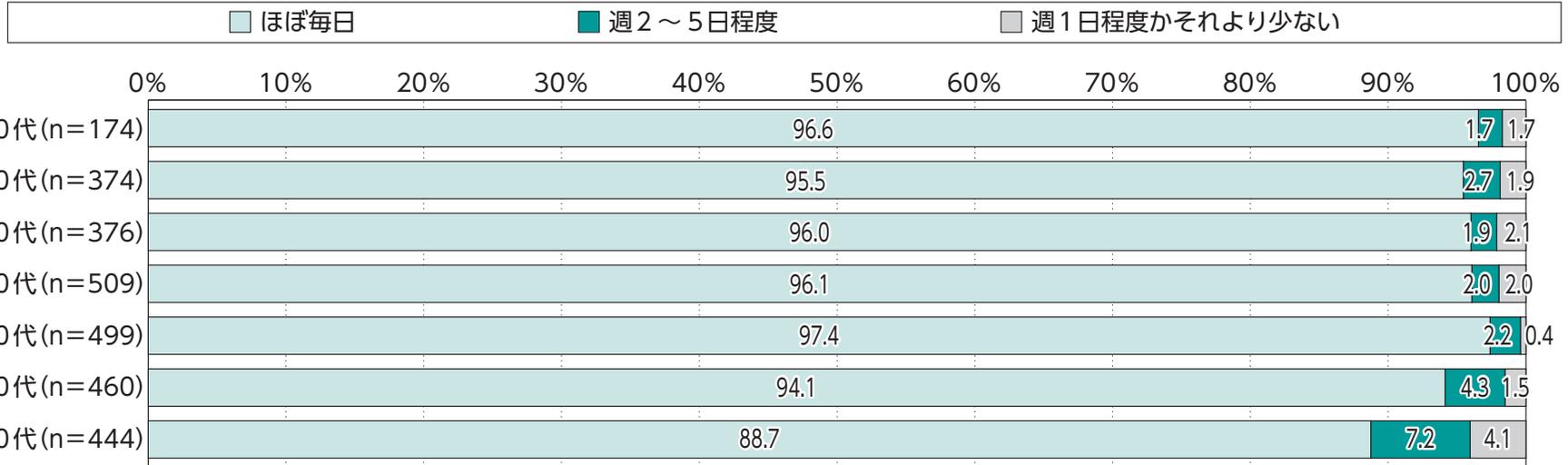
スマートフォンの利用頻度[性年代別] (単一回答)

- 男女とも10～60代の9割以上がほぼ毎日スマートフォンを利用。
- 70代以上では男女ともに8割以上が毎日利用、約1割が週2～5日程度利用。

男性



女性



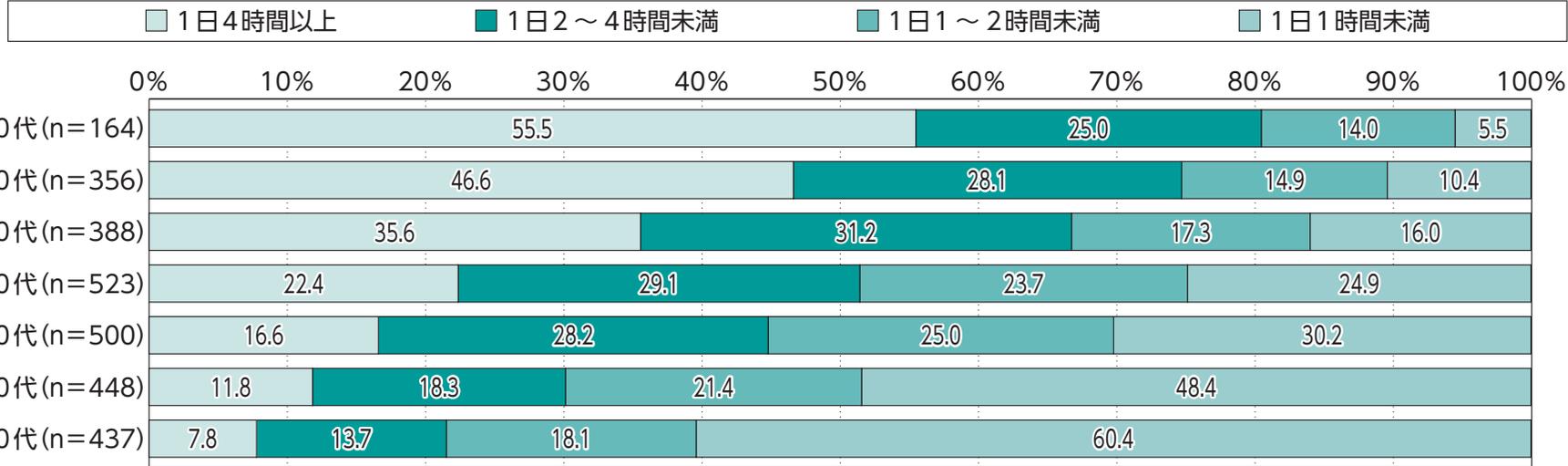
注：スマートフォン利用者が回答。
出典：2023年スマホ利用者行動調査

1章 2節
資料1-12

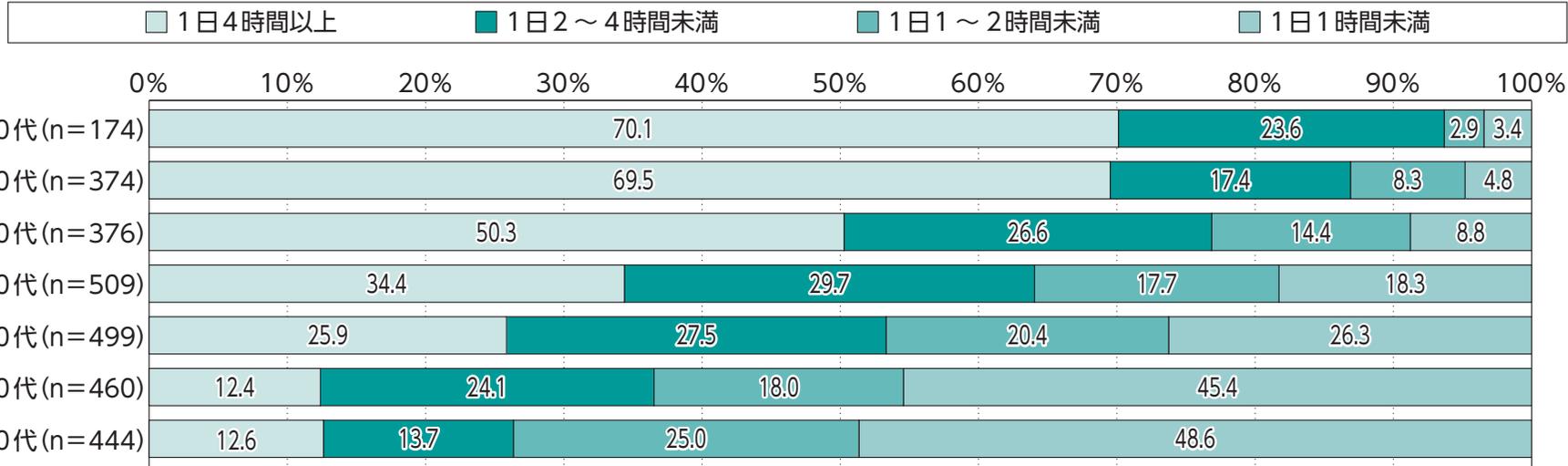
スマートフォンの利用時間[性年代別] (単一回答)

- 1日4時間以上利用する割合は女性若年層で高く、20代以下の女性では約7割が4時間以上利用。
- 70代男性は半数以上が1日1時間未満。

男性



女性



注：スマートフォン利用者が回答。
出典：2023年スマホ利用者行動調査

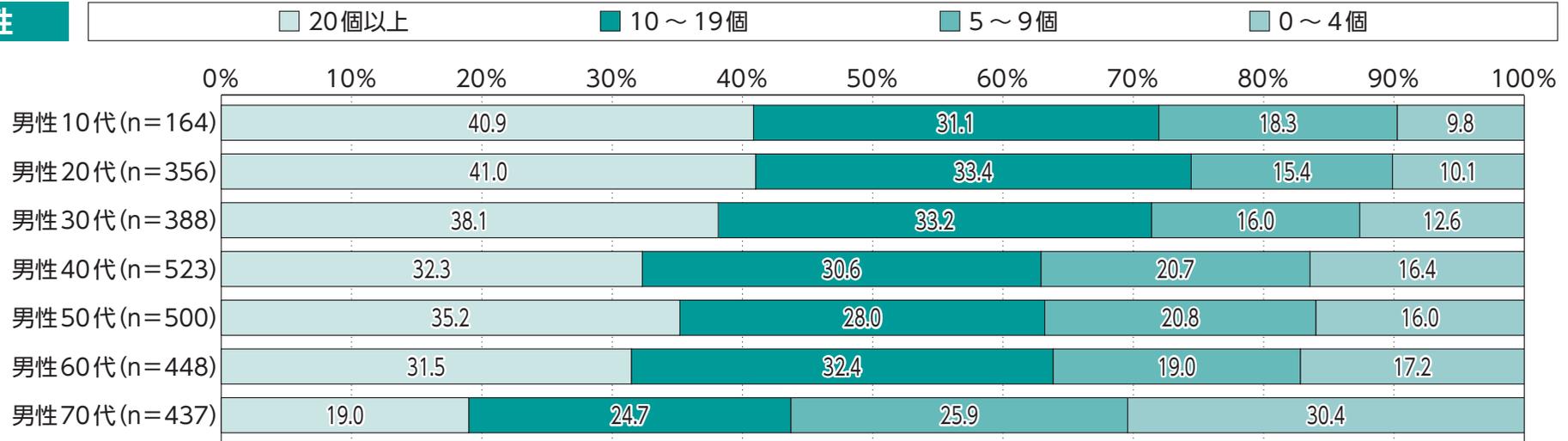
1章 2節

自身でダウンロードしたアプリの数[性年代別] (単一回答)

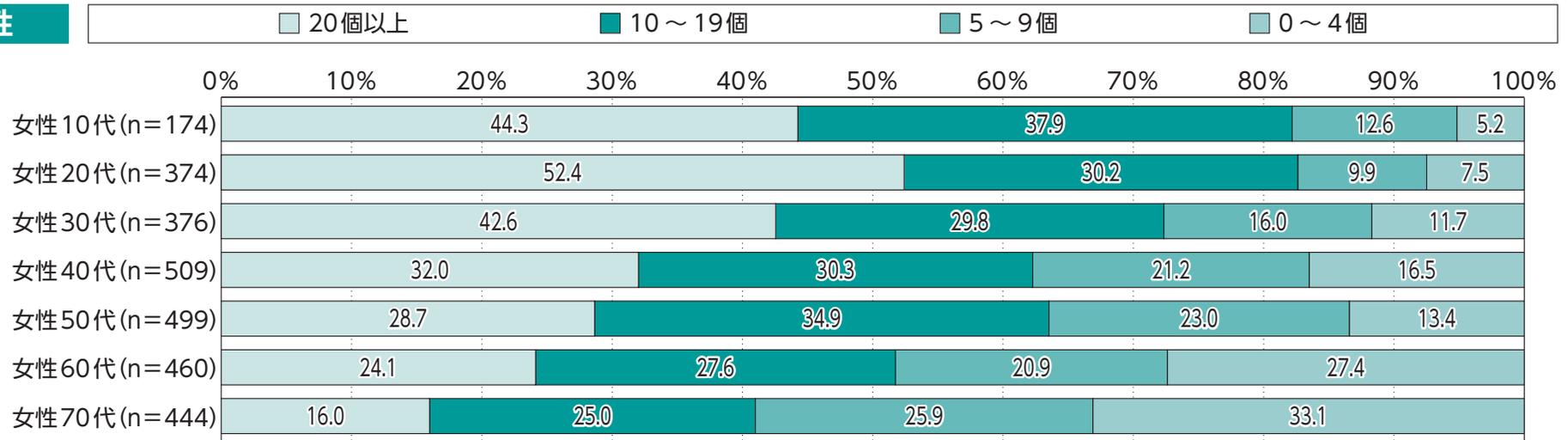
資料1-13

- 若年層のほうがダウンロードしたアプリ数が多い傾向。
- 70代男女の3割超はダウンロードしたアプリ数が4個以下。

男性



女性



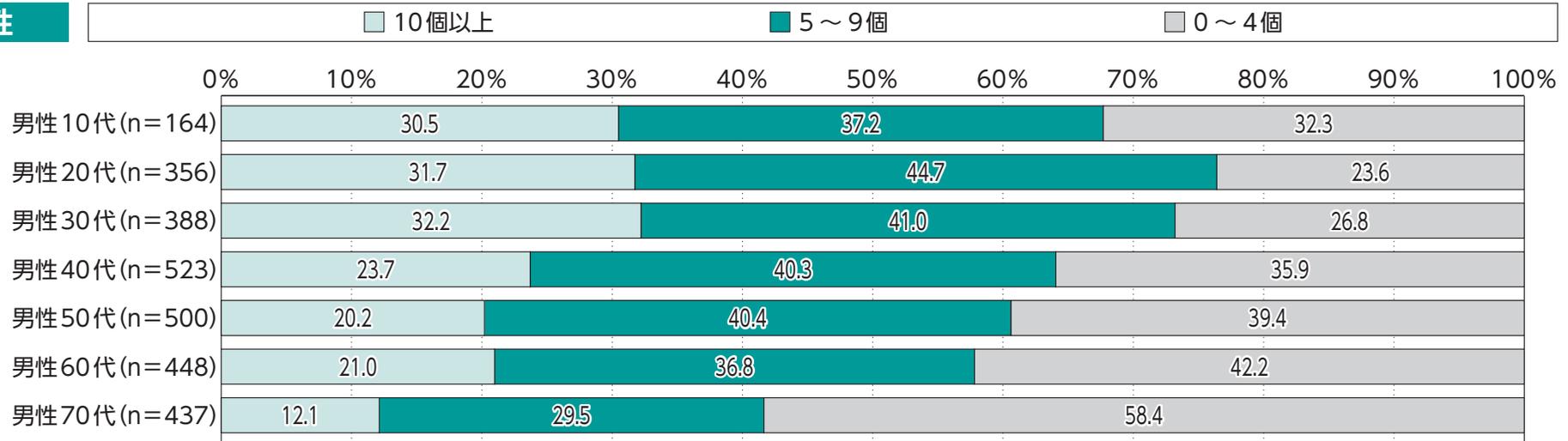
注：スマートフォン利用者が回答。
出典：2023年スマホ利用者行動調査

1章 2節
資料1-14

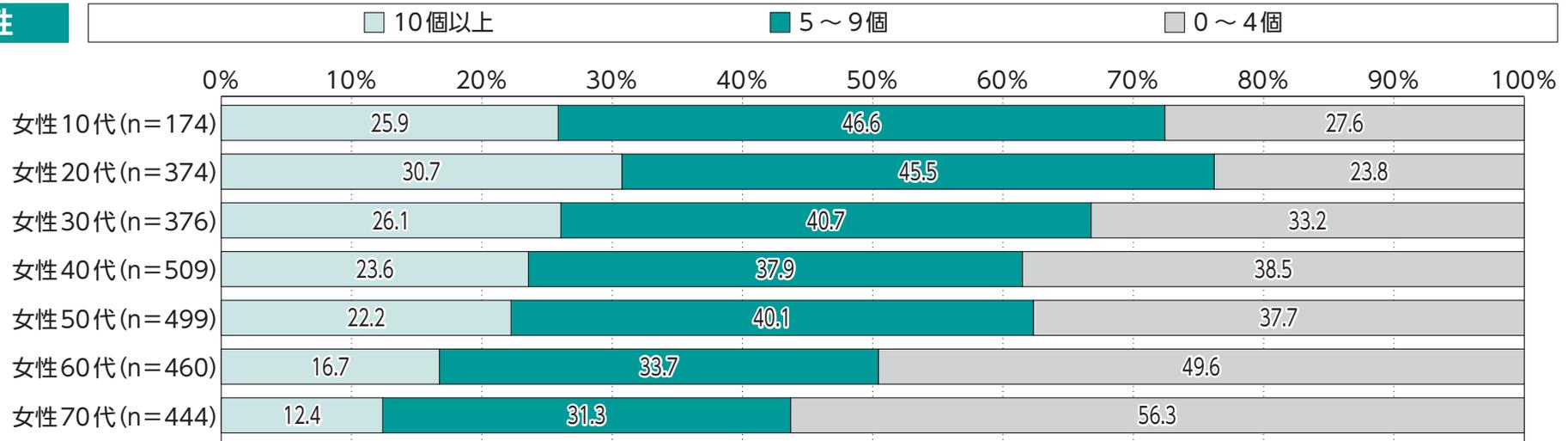
日常的に使うアプリの数[性年代別] (単一回答)

●若年層のほうが日常的に使うアプリの数が多い傾向があり、30代以下の男女の約3割が10個以上のアプリを日常的に使っている。

男性



女性



注：スマートフォン利用者が回答。
出典：2023年スマホ利用者行動調査

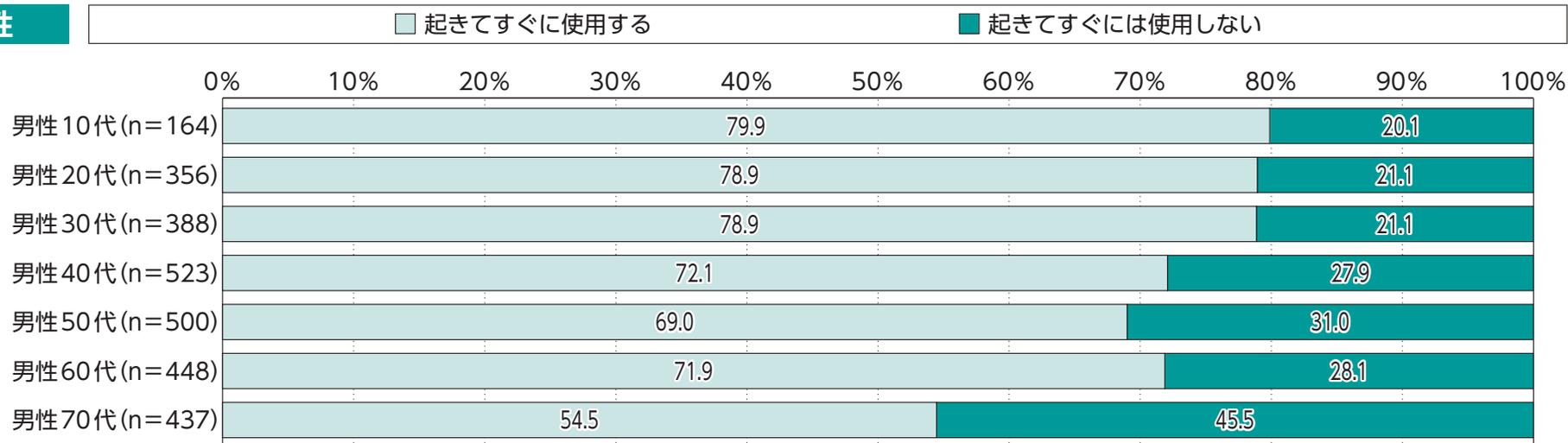
1章 2節

起床後すぐのスマートフォン使用[性年代別] (単一回答)

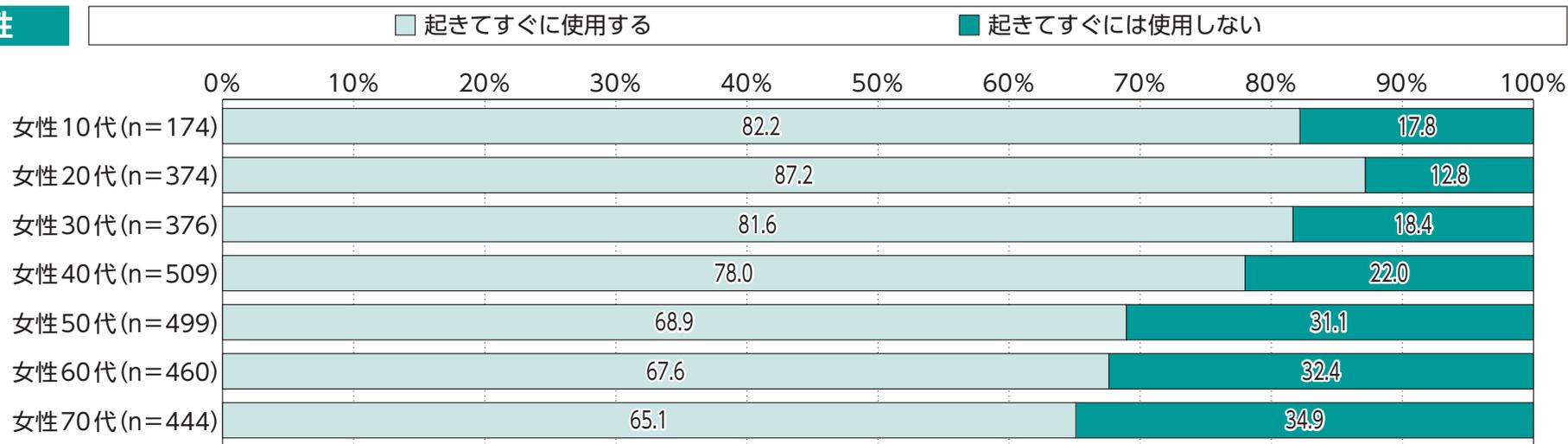
資料1-15

- 若年層のほうが起床後すぐにスマートフォンを使用する人が多い傾向。
- 30代以下の女性の8割以上が起床後すぐにスマートフォンを使用。

男性



女性



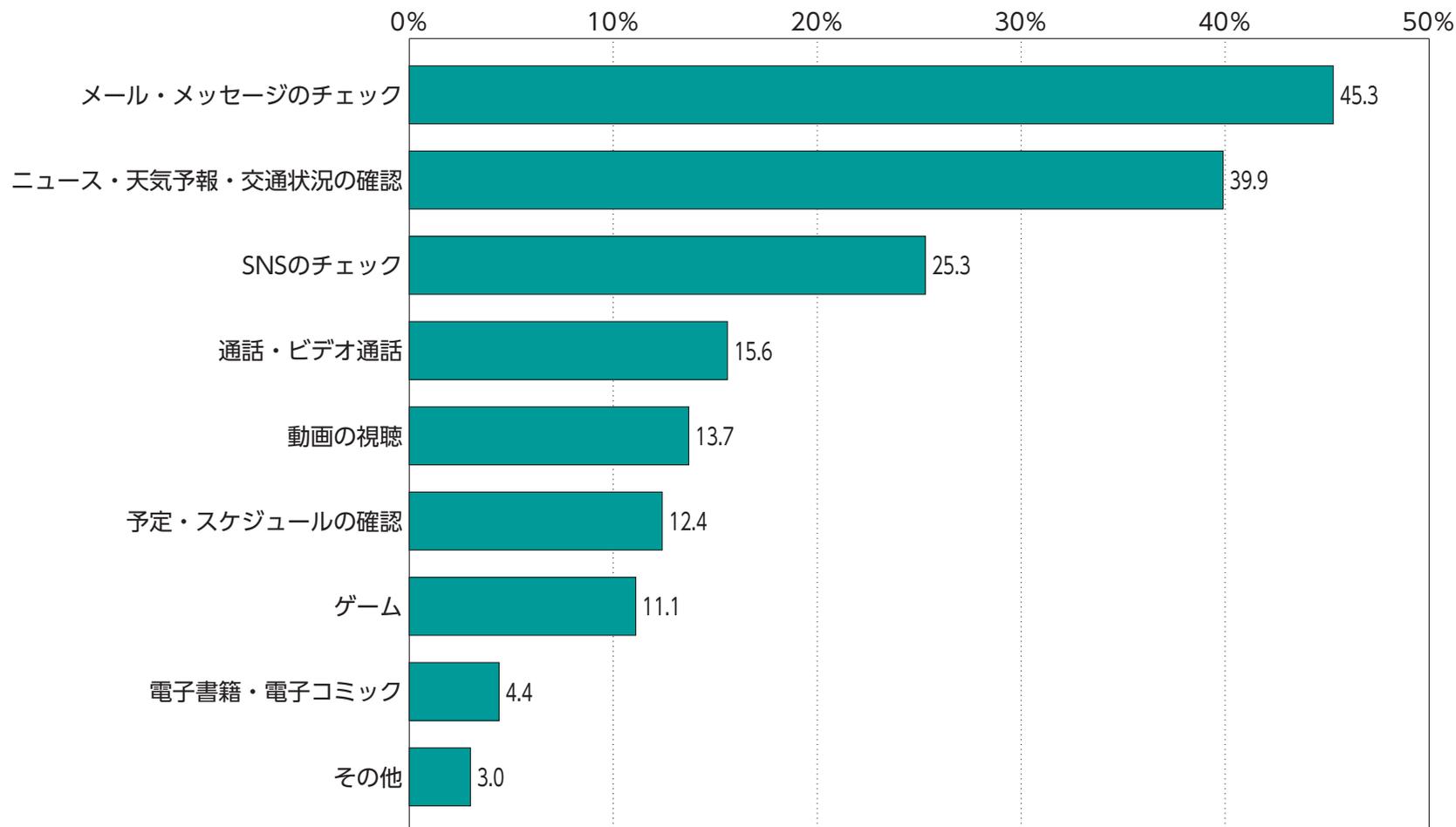
注：スマートフォン利用者が回答。
出典：2023年スマホ利用者行動調査

1章 2節

起床後すぐにスマートフォンで行っている行動(複数回答)

資料1-16

- スマートフォン利用者の約半数が起きてすぐに「メールやメッセージのチェック」を実施。
- 起床後すぐにスマートフォンで「ニュースや天気予報、交通状況の確認」をするのは約4割。



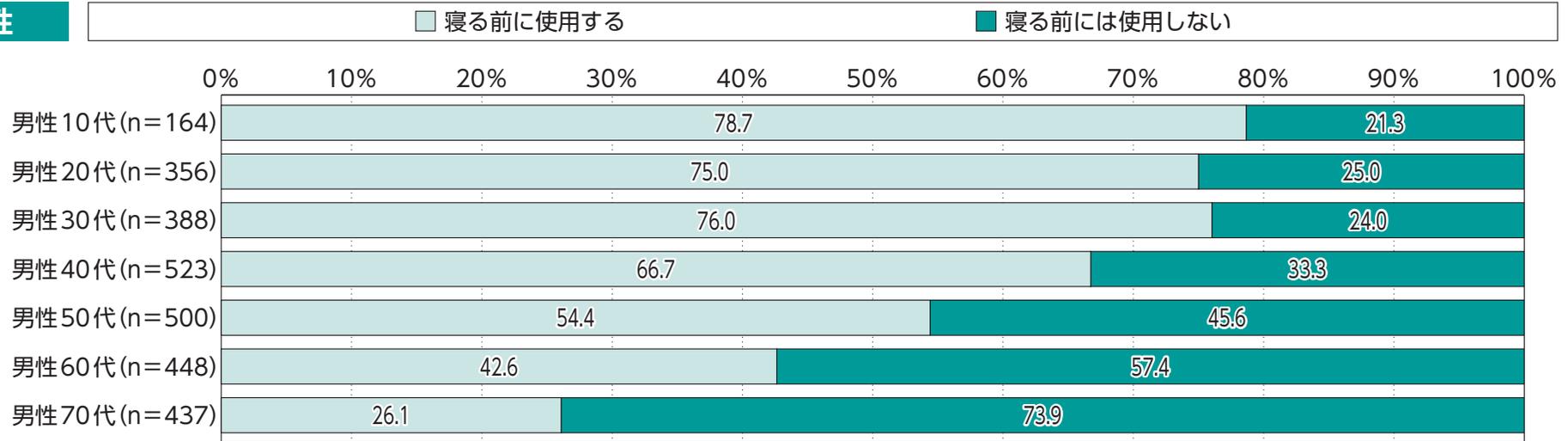
注：スマートフォン利用者が回答。
 出典：2023年スマホ利用者行動調査

1章 2節
資料1-17

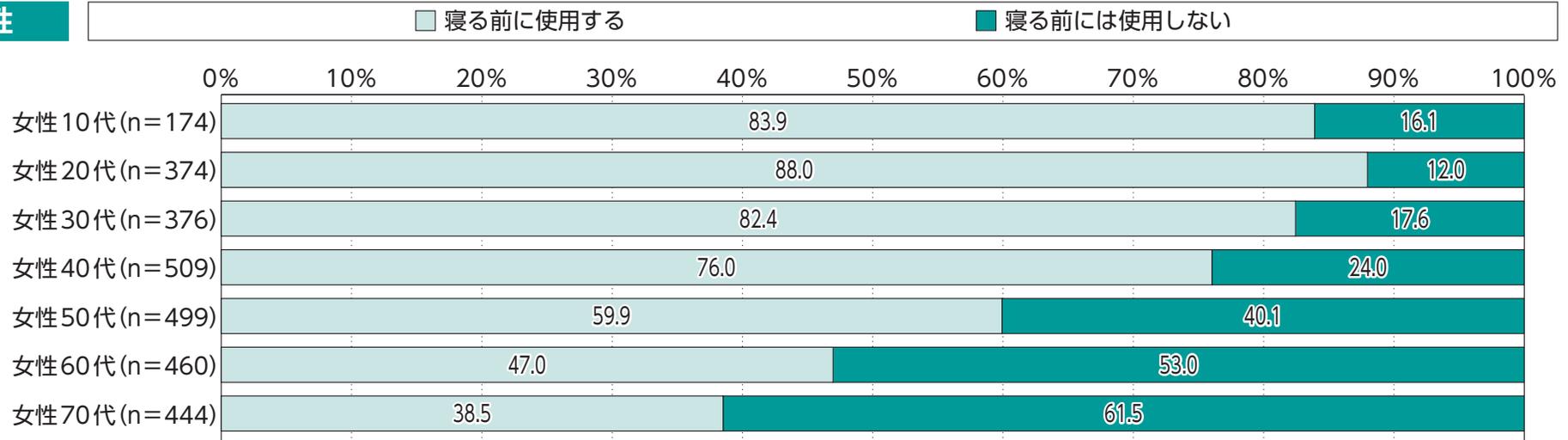
就寝前に布団などに入りながらのスマートフォン使用[性年代別] (単一回答)

- 若年層のほうが就寝前にスマートフォンを使用する人が多い傾向。
- 30代以下の男性の7割以上、女性の8割以上が就寝前にスマートフォンを使用。

男性



女性



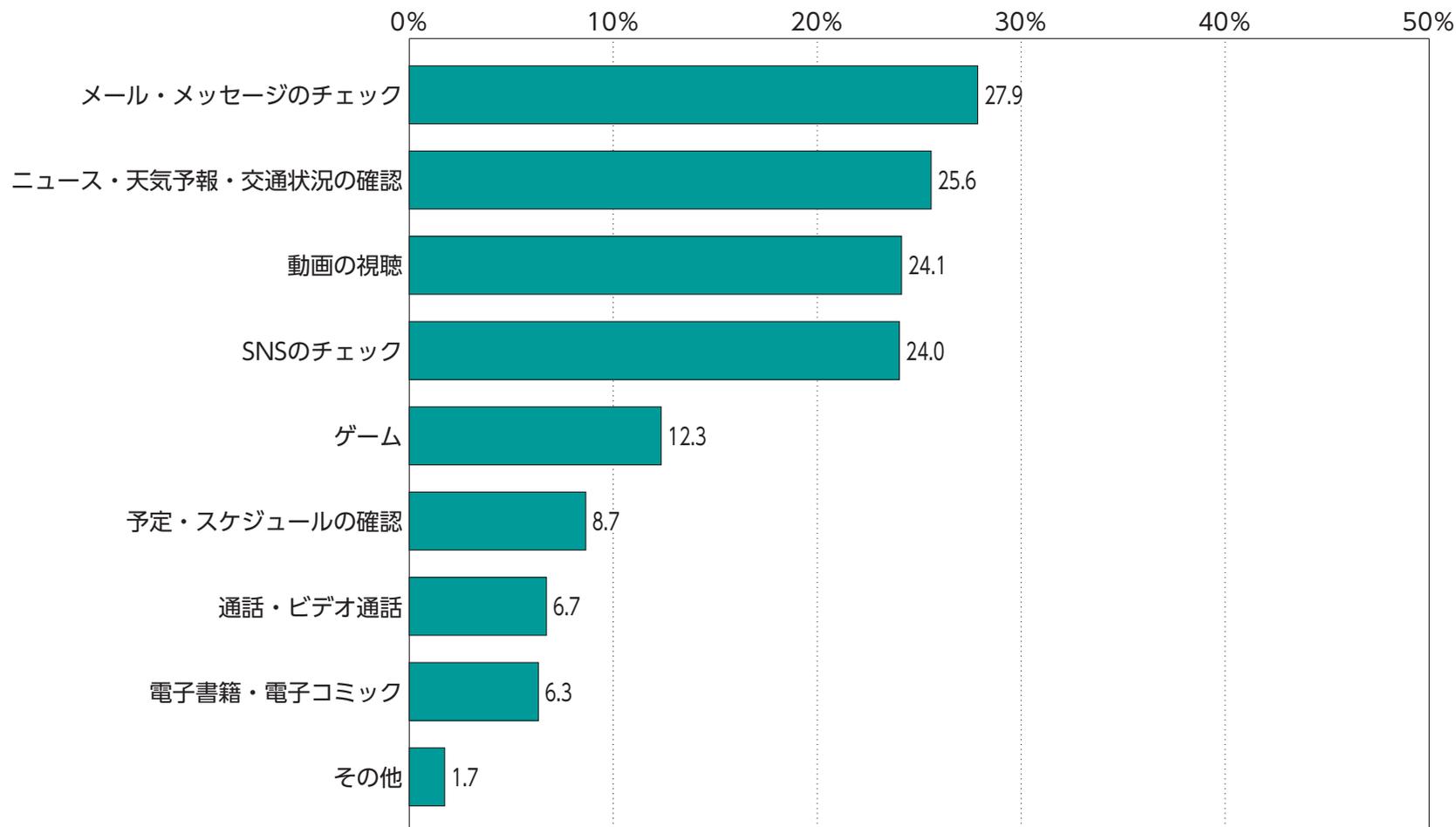
注：スマートフォン利用者が回答。
出典：2023年スマホ利用者行動調査

1章 2節

就寝前に布団などに入りながらスマートフォンで行っている行動(複数回答)

資料1-18

- スマートフォン利用者の約3割が就寝前に「メールやメッセージをチェック」を実施。
- 就寝前に「動画視聴」や「SNSのチェック」をする人はそれぞれ約24%。



注：スマートフォン利用者が回答。
 出典：2023年スマホ利用者行動調査

1章 携帯電話の所有・利用状況

3節 健康意識とICT利活用調査

同世代の人と比べて、自分は健康であるかという健康意識とICT利活用状況の関係

ポイント

- スマートウォッチの利用率は約1割。男性のほうがわずかに高い。体組成計・血圧計は世代が上がるほど利用率が増加。60～79歳の血圧計の利用率は約6割(資料1-19)。
- 約4割が歩数をスマホ・タブレット・パソコン連携取得。GPSと連動した運動データ(自転車・ランニング・登山ログなど)を、男性15～39歳の12.5%が連携取得(資料1-20)。
- 健康意識(同世代の人と比べて、自分は健康であるか?)は、男性40～59歳は、「そう思う」「ややそう思う」の合計が最も低く、60～79歳は、男女ともに「そう思う」「ややそう思う」の合計が他の世代と比較して高い(資料1-21)。
- 身体活動が長いほど、同世代の人と比べて自分は健康であると思う傾向(資料1-22)。

[資料1-19] 現在利用している機器[性年代別](単一回答)…………… 31

[資料1-20] スマホ・タブレット・パソコンと連携して取得しているデータ
[性年代別](複数回答)…………… 32

[資料1-21] 健康意識：同世代の人と比べて、自分は健康であるか？

[性年代別](単一回答)…………… 33

[資料1-22] 日常生活の歩行または同等の身体活動(仕事も含む)の

1日合計と健康意識(単一回答)…………… 34

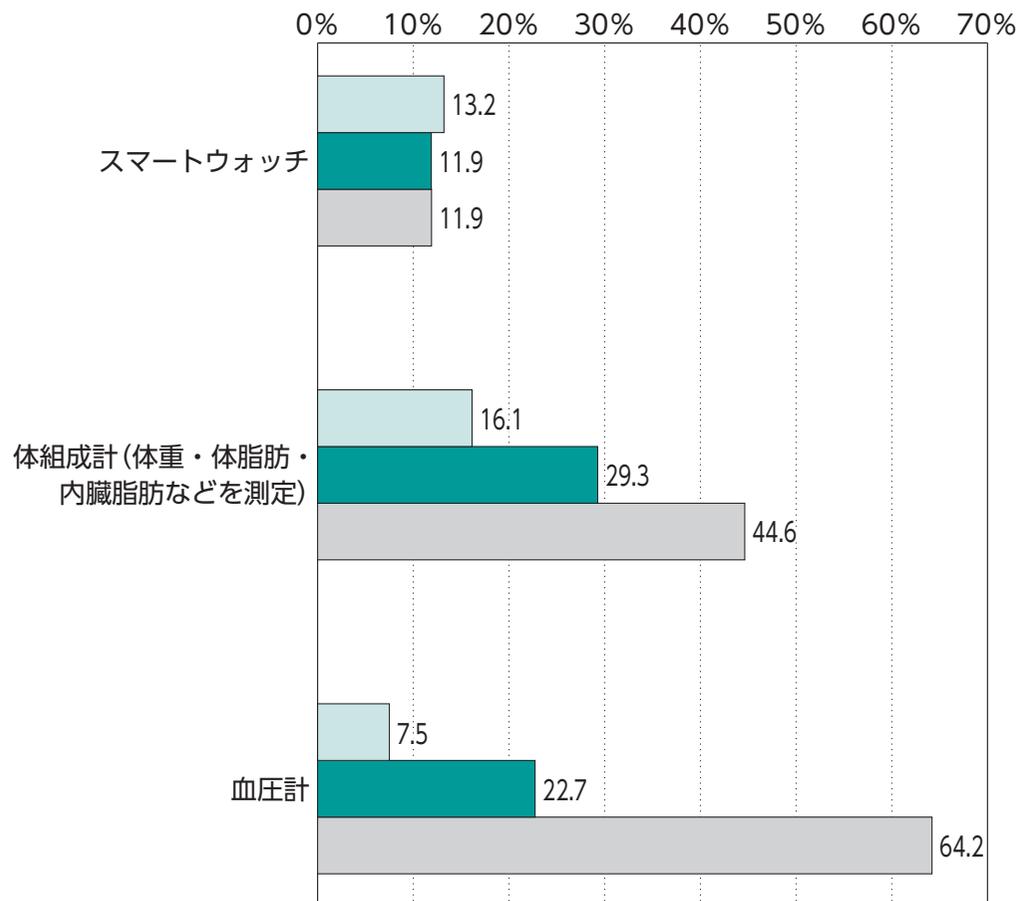
1章 3節

現在利用している機器[性年代別] (単一回答)

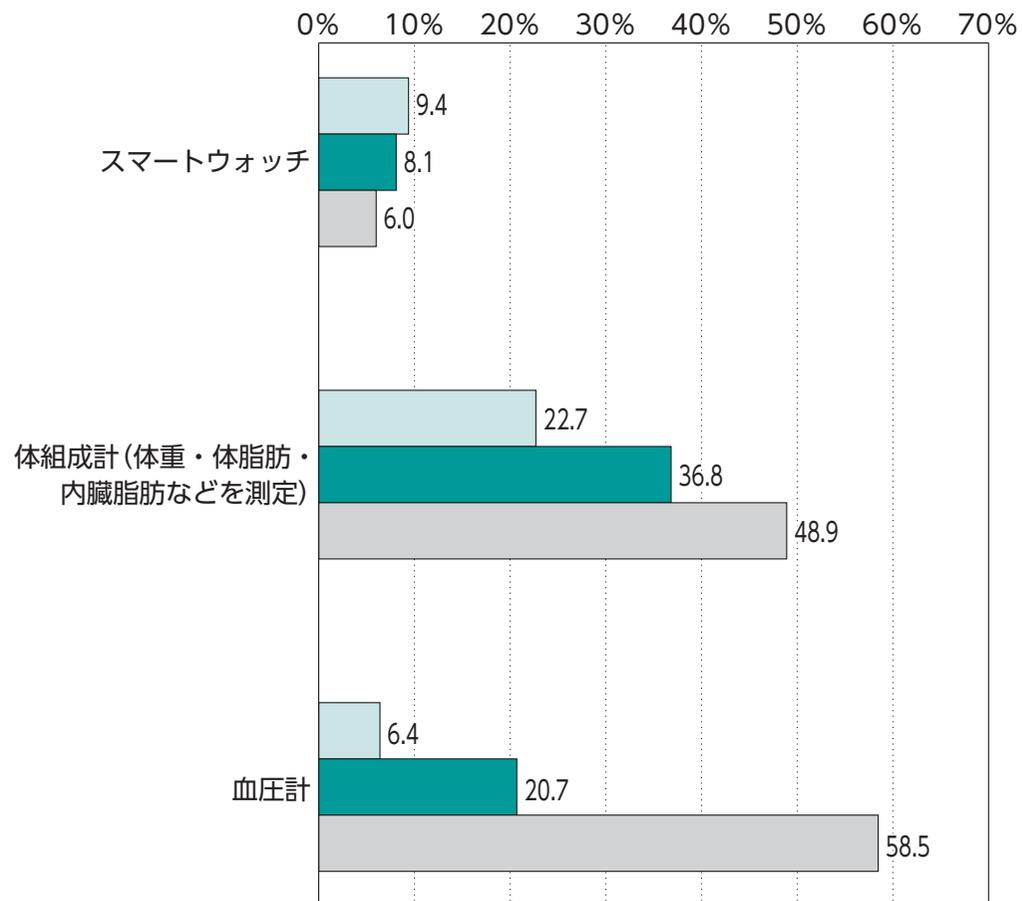
資料1-19

- スマートウォッチの利用率は約1割。男性のほうがわずかに高い。
- 体組成計・血圧計は世代が上がるほど利用率が増加。60～79歳の血圧計の利用率は約6割。

■ 男性 15～39歳 (n=1,227) ■ 男性 40～59歳 (n=1,254)
 ■ 男性 60～79歳 (n=1,109)



■ 女性 15～39歳 (n=1,172) ■ 女性 40～59歳 (n=1,222)
 ■ 女性 60～79歳 (n=1,182)



出典：2023年健康意識とICT利活用調査

1章 3節

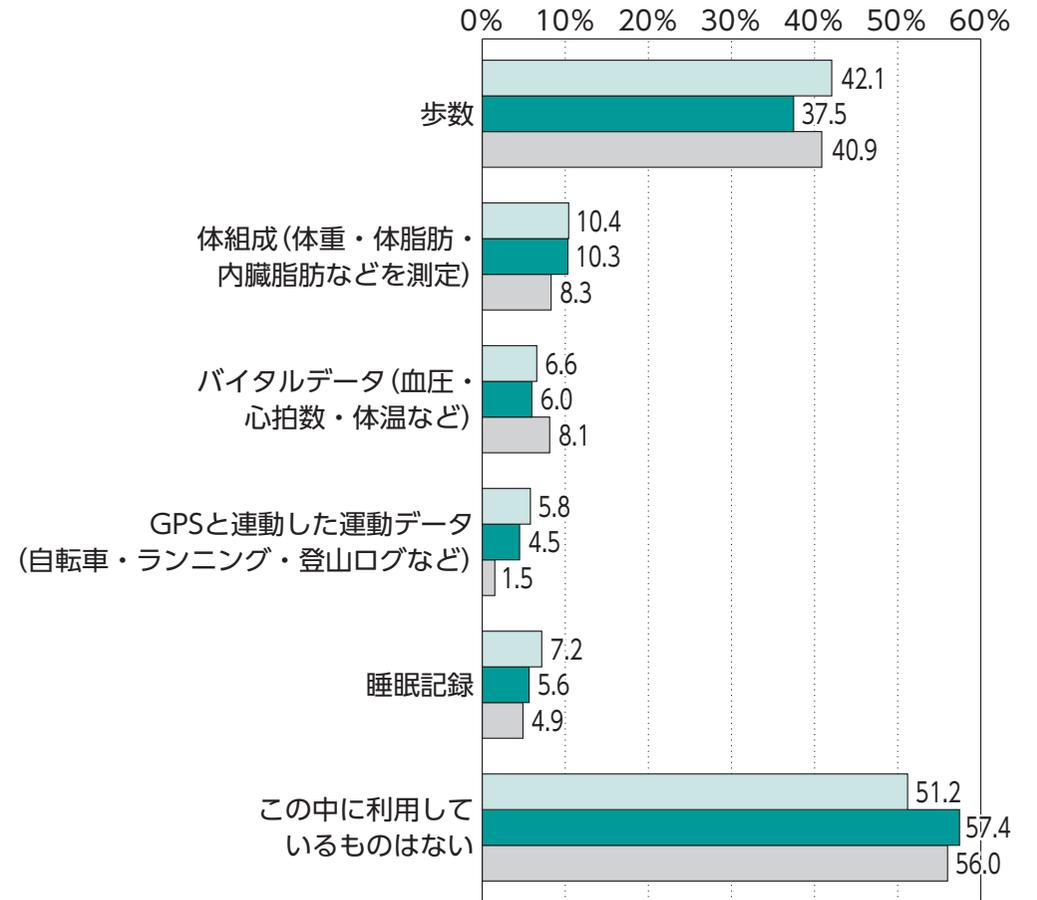
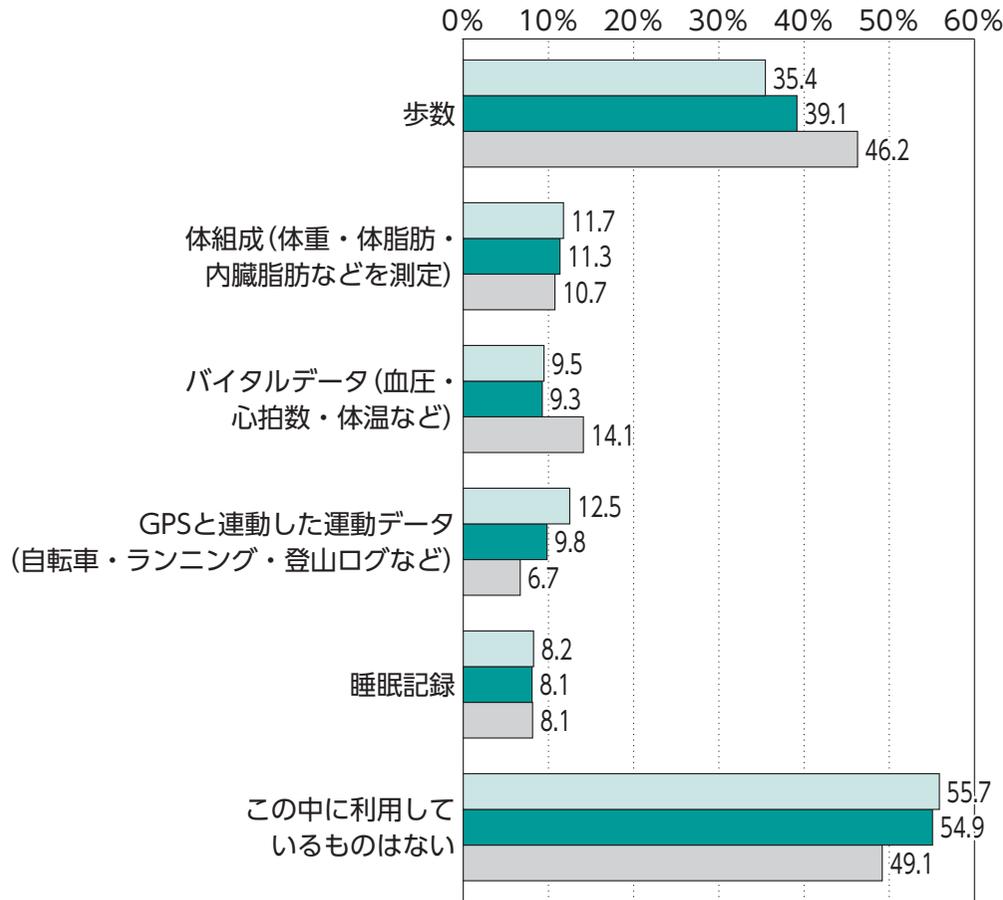
スマホ・タブレット・パソコンと連携して取得しているデータ[性年代別](複数回答)

資料1-20

- 歩数：約4割が連携取得。
- バイタルデータ(血圧・心拍数・体温など)：男性60～79歳の14.1%が連携取得。
- GPSと連動した運動データ(自転車・ランニング・登山ログなど)：男性15～39歳の12.5%が連携取得。

■ 男性 15～39歳 (n=1,227) ■ 男性 40～59歳 (n=1,254)
■ 男性 60～79歳 (n=1,109)

■ 女性 15～39歳 (n=1,172) ■ 女性 40～59歳 (n=1,222)
■ 女性 60～79歳 (n=1,182)



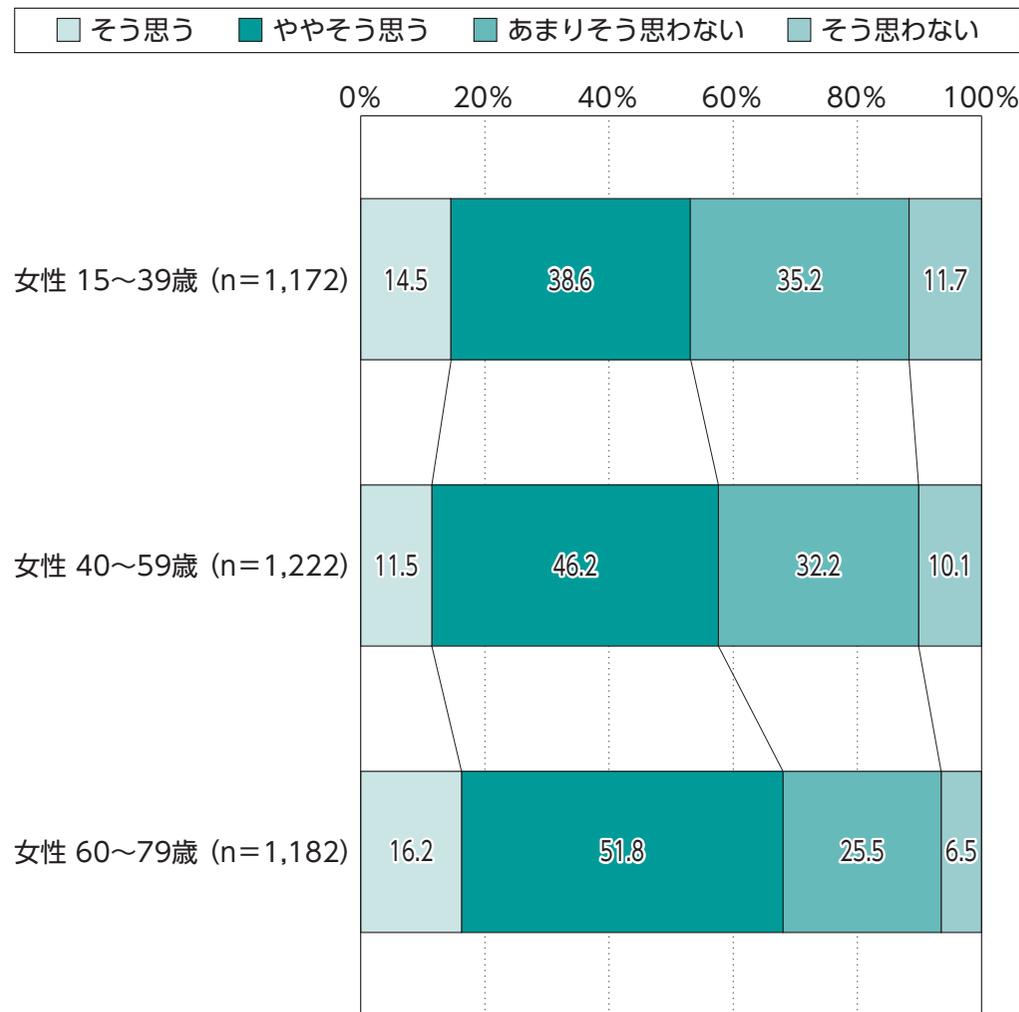
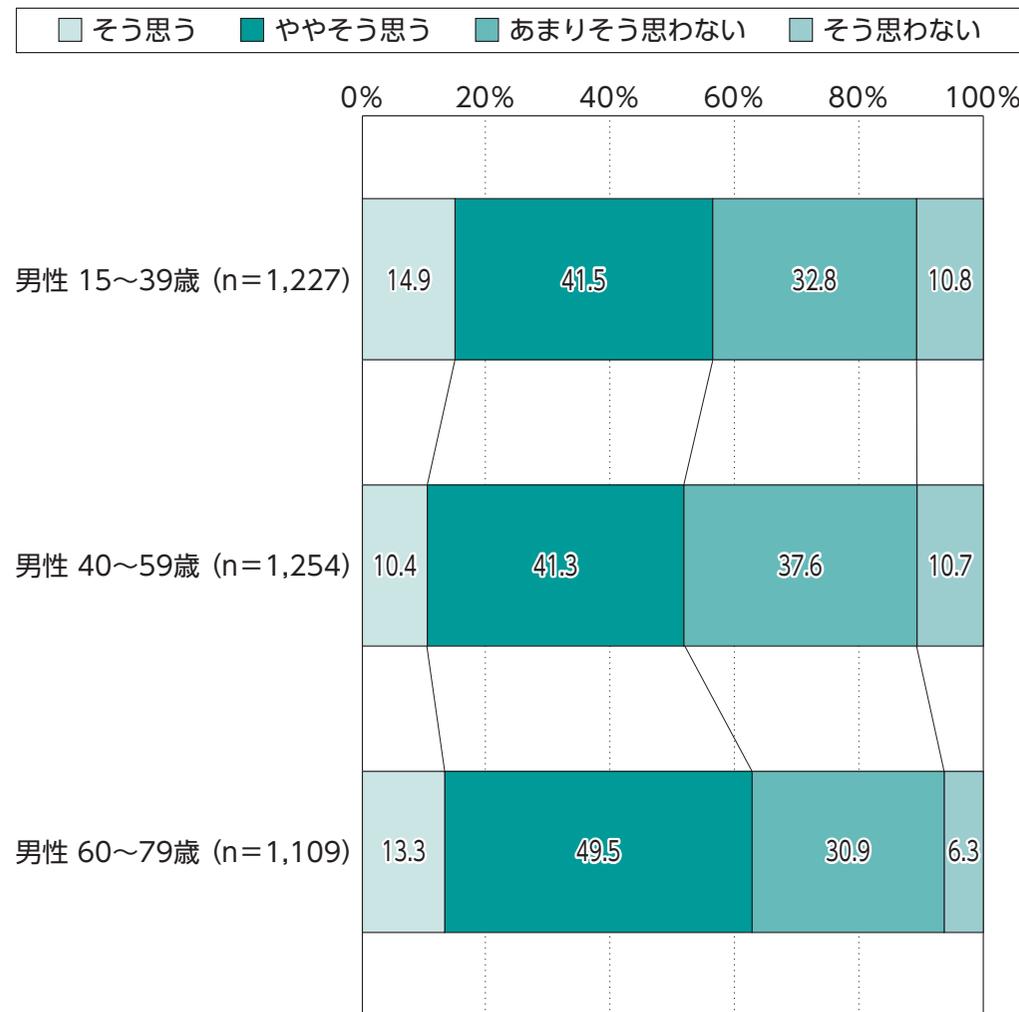
出典：2023年健康意識とICT利活用調査

1章 3節

健康意識:同世代の人と比べて、自分は健康であるか？ [性年代別] (単一回答)

資料1-21

- 男性40～59歳は、「そう思う」「ややそう思う」の合計が最も低い。
- 60～79歳は、男女ともに「そう思う」「ややそう思う」の合計が他の世代と比較して高い。



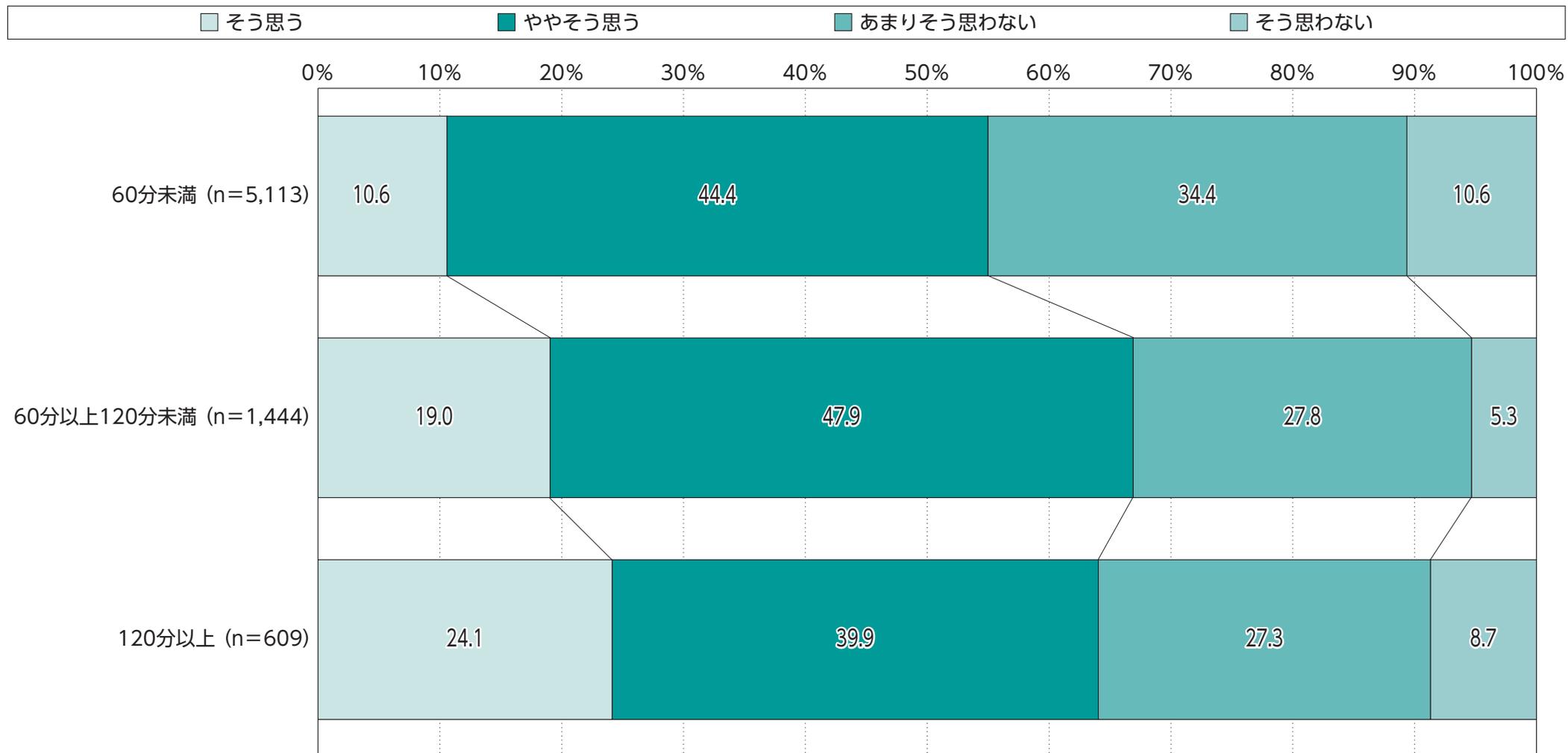
出典：2023年健康意識とICT利活用調査

1章 3節

日常生活の歩行または同等の身体活動(仕事も含む)の1日合計と健康意識(単一回答)

資料1-22

●身体活動が長いほど、同世代の人と比べて自分は健康であると思う傾向。



出典：2023年健康意識とICT利活用調査